

平成 29 年度
仙台市市民活動サポートセンター
年間報告書

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

1	はじめに
2	場の提供
2-1	貸室、フリースペース
2-2	市民活動シアター
2-3	共同事務室
2-4	ロッカー、レターケース
2-5	パソコン、印刷機
3	情報の収集・提供
3-1	情報掲示等利用
3-2	団体情報の蓄積
3-3	市民活動団体への情報提供
3-4	図書の貸出
3-5	サポートセンター情報の発信
4	相談・問い合わせ対応
5	交流・連携・その他
5-1	外部組織との連携
5-2	会議・研修
5-3	視察・見学対応
5-4	防災避難訓練
5-5	施設維持管理
6	集計一覧
資料1	年間行事
資料2	主な項目の利用状況推移
資料3	情報関連業務利用状況推移
資料4	市民活動共同事務室利用状況
資料5	貸室利用状況(部屋別集計)
資料6	貸室利用時間(曜日・時間別集計)
資料7	利用団体分野別集計
資料8	団体情報ストック数 分野別集計
資料9	図書資料分類別冊数
資料10	ホームページアクセス件数集計表
資料11	「ぱれっと」発行状況
資料12	相談・問合せ対応記録集計表
資料13	視察・見学等対応報告
資料14	サポートセンター業務運営組織

7	事業報告
1-1	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務
1-2	施設機関紙やWEB媒体での発信による 市民活動や協働の情報提供
1-3	仙台に情報の背骨を通すプロジェクトの新運用検討
2	多様な相談に対する対応の実施
3-1	市民活動を「知る、体験、学ぶ」機会づくり
3-2	市民メディアの担い手育成
4-1	市民活動初心者の人材育成
4-2	活動力強化講座
5	伴走型相談による個別支援
6	市民活動団体の交流機会の創出
7	地域機関との連携
8	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有
9	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究

1. はじめに～3つのエンジンで市民の力を育み、都市の力へとつなぐ～

○仙台市市民活動サポートセンター運営基本方針

平成 29 年度は、仙台市市民活動サポートセンター（以下、サポートセンター）の、指定管理期間（平成 27 年度～31 年度）の 3 年目であった。

今期は、運営基本方針として「3 つのエンジンで市民の力を育み、都市の力へとつなぐ」を掲げ、主にテーマ型コミュニティの自立・連携・創発を推進する 3 つのエンジンを構築し、かつ他機関との協力関係をもとに、多様な主体の協働によるまちづくりを推進する。

○事業実施方針

（１）自立のエンジン：地域や社会課題の解決力を持つ組織を生み出す

地縁組織や NPO 等の多様な市民活動団体やその活動者が、時流の変化に対応できる力を育む。

（２）連携のエンジン：クロスセクターによる課題解決を推進する

協働を生む人材育成や機会づくりに加え、地域機関と連携し地域内協働を促進する。

（３）創発のエンジン：協働による調査研究と、その成果の社会還元をもたらす

専門的ノウハウを持つ団体と協働で調査や研究を実施し、その結果を事業運営に反映する。事業を通して、市民の課題解決力を育み、地域へとつなぎ、協働によるまちづくりを推進する事により、調査研究の成果を地域や社会に還元する。

○平成 29 年度の成果と課題

（１）施設基本機能

①事業種類：施設サービス全般、情報収集提供業務、相談業務

②成果

- ・総利用数は件数が 17,132 件（28 年度比 95%）、人数が 63,930 人（28 年度比 97%）で、改修工事に伴いサービスを一部停止した影響で 28 年度より減少したが、人数については 26 年度～27 年度並みを維持した（26 年度 63,904 人、27 年度 66,117 人）。改修後の来館者は、前年同時期より増加しており、改修による効果が期待できる。
- ・貸室とフリースペースを合わせた諸室の利用件数は 8,314 件（28 年度比 96%）、利用人数が 62,937 人（28 年度比 97%）で減少したが、改装工事のための自己使用が無かった場合は、貸室だけで利用人数が 1,700 人以上増加していたと推計でき、前年度並みの利用者数を維持できたと考えられる。
- ・情報収集提供業務では、情報発信の対象によって広報ツールや情報の内容及び表現を使

い分ける広報戦略を明確化した効果が表れてきている。平成 27 年度からリニューアルした機関紙が若者に浸透し始めており、「自分の団体を掲載してほしい」「ぱれっとの表紙に載りたい」などの声が特に若者から寄せられるようになった。WEB では、特にブログのページビューの伸びが目立った。年間総計で 517,242 のページビューがあり、28 年度の 353,746 から大きく増加した。近年、サポートセンター初来館の事業参加者が一定数継続して生まれていることから、情報発信に継続的に取り組んでいることの成果がうかがえる。

- ・相談業務は、年間の総相談件数が 790 件（28 年度 861 件、28 年度比 91%）と減少したが、一昨年度（27 年度 650 件）よりは増加している。活動相談の相談者の属性を見ると、28 年度に比べ市民活動（非営利団体）の割合が下がり、企業（営利組織）や大学（教育機関）からの割合が増え、多様な主体から相談が寄せられるようになってきている。

③課題

- ・総利用件数および利用者総数の減少は、あきらかに機能強化のための改修工事の影響が大きい。機能強化に伴う改装工事にて貸室を自己使用として押さえていた日数は、延べ 101 日間、時間数で 1,003 時間におよぶ。2017 年 7 月 6 日～2018 年 2 月 16 日の期間で利用者にとって貸室の使用が制限されることになった。
- ・情報収集提供業務では、改修工事に伴い図書の配架スペースが大幅に減少したため、図書の配架方式をこれまでの開架方式から、企画展示方式に変更した。今後は市民活動や協働の推進に関係するテーマで企画展示を実施するなど、無関心層への啓蒙や活動者への情報提供を検討する必要がある。
- ・相談業務では、活動相談の件数が 299 件（28 年度 425 件、28 年度比 70%）と減少した。窓口での施設利用相談は増加していることから、活動相談へと引き上げていく取り組みをすることによって、相談件数全体の増加につながる可能性がある。

（2）自立のエンジン

①年度方針：「多様な市民力の裾野拡大（事業 3）」

「社会を変革する組織の支援（事業 4）」

②事業種類：市民活動者の育成、市民活動力強化、市民活動団体の組織運営基盤強化

③成果

- ・市民力の裾野拡大を目的とした「市民活動者の育成事業」は、事業参加をきっかけに市民活動に関わり始めた方は延べ 16 件と目標の 10 件を上回った。特に、市民ライター講座の受講者から、サポートセンターの機関誌「ぱれっと」の取材・執筆者が 13 人おり、課外活動などを通じて講座受講後をフォローすることにより、活動の実践へとつながることができている。サポートセンターがマッチングしたことにより、地元ローカルメディアに参加した受講者も 1 人いた。
- ・「市民活動力強化事業」は、28 年度も好評だった初心者向けの助成金申請をテーマにし

た2講座の受講者が更に増え、定員の2倍の参加(29~30名)があり、市民活動団体のニーズを捉えた講座により、より多くの市民活動者の力づけを行うことができた。

④課題

- ・「市民活動者の育成事業」は、企画により参加者のばらつきがあった。ニーズの調査と戦略を立てた広報が必要である。
- ・「市民活動力強化事業」の初心者講座の参加者アンケートの結果をもとに企画した、「人材育成」「会計」の講座は定員を下回る参加者数となった。「人材育成」「会計」と一言で言っても、捉え方や求める物は人それぞれである。より精査したニーズ調査が必要である。
- ・「組織運営基盤強化」では、日程を要するスクール(連続講義)形式の支援では、団体が日程調整が難しく、参加に結び付かないことがわかった。テーマごとに気軽に参加できる講座を実施し、受講者を相談でフォローできる仕組みを検討する。

(3) 連携のエンジン

①年度方針：「多様な主体同士がつながりやすい環境を育む(事業7)」

「協働によるまちづくりの未来を描く(事業8)」

②事業種類：市民活動団体の交流機会の創出(事業6)、多様な主体による協働の推進(事業7)、多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出(事業8)

③成果

- ・「市民活動団体の交流機会の創出事業」では、マチノワ企画(7月マチノワ縁日、2月マチノワWEEK)にて、ブース出展団体を募り、今まで知り合う事がなかった異分野の延べ40団体が一堂に会した事により、知り合うきっかけを作ることができた。
- ・「多様な主体による協働の推進事業」では、多様な主体が参加し、交流するマチノワ企画(7月マチノワ縁日、2月マチノワWEEK)を実施し、延べ1,488名が参加。多様な主体同士が知り合うきっかけを作った。
- ・「多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出事業」では、年3回実施したマチノワラボに、行政・NPO・市民・学生ら、延183名の参加があり広い関心層が、課題認識する場となった。一方、参加型ワークショップで深い対話を行うチビラボでは年3回で延34名が、仙台市の身近な課題をデータを可視化する手法により、自分事として認識を深め、対話を行った。

④課題

- ・「市民活動団体の交流機会の創出事業」では、ブース出展だけでは知り合うきっかけにすぎず、そこからより深い交流へと意識づけしていく仕組みが必要である。
- ・「多様な主体による協働の推進事業」においても、多様な主体が参加し、交流する場を設ける事ができたが、すべての参加者が、異なる多様な主体の人たちと対話できたわけでは

なかった。もっと多様な主体と対話を生み出すための仕組みを検討する必要がある。

- ・「多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出事業」は、対話の場から実践につなげるため、見出した課題をいかに多様な主体が連携しながら解決していくかということを提示していくことが求められる。

(4) 創発のエンジン

①年度事業方針：「協働によるまちづくりに資する仕組みや事業の検討（事業 9）」

②事業種類：市民活動等に関する調査研究及び成果公表

③成果

- ・社会課題解決のプラットフォームとして「せんだい都市社会イノベーション機構（仮）」（略称 SIRIUS。以下、SIRIUS）の試行を開始した。まずはプラットフォームの「調整」機能について、構成団体・機関等のプロジェクトや情報を集約し整理するための定例ミーティングを年 6 回実施し、検証を行った。
- ・また、プラットフォームに必要な「調整」「調査」「開発」「提言」の機能のうち、「開発」の機能を検討すべく、多様な主体が集い社会課題について議論するセッションとして「マチノワラボ」と「チビラボ」を実施した。

④課題

- ・SIRIUS の本来の目的やビジョンについても手探りであったため、議論が停滞したり、方向性が拡散した。今後は、SIRIUS の目的やビジョンを明確にしていくことが必要である。
- ・また、これまでの 3 年間の成果から、今後につながる仕組みについて実践を深めて、具体的な事業化を目指していく必要がある。

○平成 30 年度に向けて

(1) 平成 29 年度トピック

①機能強化のための施設改装

- ・機能強化のための施設改装を実施し、施設の顔である 1 階が、情報と交流の拠点として生まれ変わった。紙物ベースの情報発信に加えて、ギャラリーやイベントスペースを活用した情報発信が可能になった。

②ウェブを活用した情報発信の強化

- ・機能強化の改装に合わせてホームページを一部改修。ブログの閲覧数が大きく増加し年間 5 万ページビューを超えるアクセスがあった。

③市民のニーズを捉えた講座実施

- ・助成金申請をテーマにした 2 講座と、市民ライター講座が、28 年度に引き続き定員を超える参加者があった。市民ニーズを捉えた講座企画で、活動者の育成が行えている。

(2) 平成 30 年度に向けて

①仙台市協働まちづくり推進プラン 2016 の実施

- ・平成 28 年 8 月公表の標記プランでは、サポートセンターが実施すべき事業が 6 項目（活動拠点確保等に関する支援・環境整備、人材育成、若者の育成に関する支援・環境整備、事業者の社会貢献活動促進に関する支援、多様な主体の交流促進のための支援・環境整備、情報の収集・発信に関する支援・環境整備）ある。28 年度、29 年度ともにプランの数値目標は達成している。プランを踏まえつつ、指定管理者として適正かつ社会状況に合わせて柔軟な施設運営に取り組んでいく。

②機能強化のための改装を生かした事業実施

- ・平成 30 年 2 月に実施された機能強化のための改装で、1 階を中心に施設のハード整備が進んだ。特に、イベントスペースとしても利用可能になった 1 階や、多様な利用方法が可能になった 5 階を活用し、サポートセンターの支援機能を周知し、多様な主体の来館を促す事業を実施していく。

2. 場の提供

2-1. 貸室、フリースペース

貸室とフリースペースを合わせた諸室の総利用件数は8,314件、総利用人数は62,937人だった。前年の28年度と比較すると件数で▲315件（前年度比96%）、人数で▲2,120人（前年度比97%）と減少した。27年度との比較でも▲879件、▲629人と減少している。機能強化による改装工事に伴う利用制限が少なからず影響した結果と思われる。（機能強化に伴う改装工事については後述 ■機能強化に伴う改装工事の影響参照）

諸室を利用した団体数は、29年度は789団体（フリースペースを利用した個人のボランティアなども含む）であり、28年度の864団体から75団体減少した。一方で、貸室、交流サロン、市民活動シアターの個別の利用団体はいずれも28年度より増加している。全体の利用団体数は減少したものの、貸室と交流サロンの双方を利用するなど、幅広く利用する団体が増えたと考えられる。

	件数	人数
27年度諸室利用計	9,193	63,566
28年度諸室利用計	8,629	65,057
29年度	貸室計	3,034
	フリー利用計	5,280
	諸室利用計	8,314
対28年度増減率	96%	97%

	28年度	29年度
諸室利用団体数	864	789
内訳	貸室	425
	交流サロン	385
	市民活動シアター	54

重複利用があるため、内訳の各利用団体数の計と利用団体数は一致しない。

■貸室

貸室全体でみると、29年度は3,034件、48,254人で、28年度より173件、1,838人減少した。部屋別では、研修室3が件数と人数で28年度を上回り、セミナーホールと研修室2が使用率で28年度と同程度を維持したものの、その他は28年度を下回った。28年度からの増減を個別にみると、特に、セミナーホール（35件449名減少）、研修室1（37件488名減少）、研修室5（38件525名減少）が大きく減少した。研修室1、研修室5は使用率も他の部屋より低下の幅が大きい。

貸室全体の年間使用時間計は、29年度10,647時間で28年度の11,320時間より673時間減った。また、27年度の10,818時間よりも171時間減っており、利用時間の減少傾向が見られる。（資料5参照）

貸室全体の曜日別、時間帯別の使用時間数では、曜日での土日の利用が多いのと、時間帯での、14時～15時の利用が多く、開閉館の直後・直前に当たる9時・21時と昼食・夕食時間帯の12時・17時～18時の時間帯で利用が低い傾向は例年と変わらない。（資料6参照）

諸室利用状況	28 年度（開館日数 335 日）			29 年度（開館日数 335 日）		
	件数	人数	使用率	件数	人数	使用率
セミナーホール	355	14,139	80%	320	13,690	80%
研修室 1	559	4,334	94%	522	3,846	90%
研修室 2	677	6,838	96%	647	6,619	96%
研修室 3	410	3,798	84%	420	4,018	83%
研修室 4	572	3,246	94%	549	3,243	93%
研修室 5	481	9,182	92%	443	8,657	87%
地上階貸室計	3,054	41,537	90%	2,901	40,073	88%
市民活動シアター	153	8,555	42%	133	8,181	37%
合計	3,207	50,092	83%	3,034	48,254	81%

■ フリースペース

交流サロンなどのフリースペースは 27 年度までは堅調に増加を続けていたが、28 年度より減少傾向に転じ、29 年度は、件数 5,280 件、人数 14,683 人で、28 年度より件数で 142 件、人数で 282 人減少し、最も多かった 27 年度と比べると 678 件 411 人少なくなった。

機能強化による改装工事に伴い、フリースペースを設置している 5 階が使用できない期間があった。代替のフリースペースを設置したが、代替のフリースペースでは物理的に席数が減少せざるを得ず、また、度重なる工事日程の遅れや変更により、終日フリースペースが設置できない日や、利用時間が限られる日が続いた影響が顕著に現れた結果といえる。30 年度は、フリースペース改修による利用増加に期待したい。

交流サロン状況		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
フリースペース	件	4,808	5,510	5,958	5,422	5,280
	人	12,002	13,705	15,094	14,965	14,683
前年度比率	件	102%	115%	108%	91%	97%
	人	89%	114%	110%	99%	98%

■ 機能強化に伴う改装工事の影響

機能強化に伴う改装工事にて貸室を自己使用にて押さえていた日数は、延べ 101 日間、時間数で 1,003 時間におよぶ。2017 年 7 月 6 日～2018 年 2 月 16 日の期間で利用者にとって貸室の使用が制限されることになった。この貸室を自己使用にて押さえていた日数を、通常通り利用者へ貸し出していた場合、どれくらいの利用件数・利用人数があったかを以下の方法で部屋ごとに推測する。

推計利用件数

貸室を自己使用とした日数×年間使用率×年間使用件数／年間使用日数

※自己使用日数に年間使用率をかけると使われたであろう日数が推計できる。

年間使用件数を年間使用日数で割ると、使用日 1 日当たりの平均使用件数となる。

これをかけることで、推計利用件数を算出。

推計利用人数

推計利用件数×年間使用人数／年間使用件数

※年間使用人数を年間使用件数で割ると、使用日 1 件当たりの平均使用人数となる。

これを推計利用件数にかけることで、推計利用人数を算出。

貸室	使用日数	使用時間	貸室	推計 利用件数	推計 利用人数
セミナーホール	7	70 時間	セミナーホール	7	287
研修室1	19	149 時間	研修室1	30	218
研修室2	7	87 時間	研修室2	14	138
研修室3	37	324 時間	研修室3	46	444
研修室4	6	74 時間	研修室4	10	58
研修室5	9	99 時間	研修室5	12	233
市民活動シアター	16	200 時間	市民活動シアター	6	387
計	101	1,003 時間	計	125	1,765

自己使用での利用件数も、年間の利用件数に含まれるため、推計利用件数 125 件から自己使用件数の 101 件を引いた 24 件が、自己使用により直接的に減少した貸室の利用件数になる（自己使用の場合、基本的に 1 日＝1 件で押さえている）。一方で、改装工事に伴う自己使用では、利用人数を 0 人としていたため、1,765 人がそのまま自己使用により直接的に減少した貸室の利用人数の推計値となる。29 年度の貸室の利用件数、人数は 28 年度より 173 件、1,838 人減少しているが、このうち改装工事に伴う自己使用による直接的な減少が 24 件、1,765 人となり、少なくとも人数については減少分のほとんどが、改装工事の直接的影響だったことが推測できる。

また、平成 30 年 2 月 1 日～11 日の期間では、一部サービスの停止を行って、交流サロン、印刷作業室、利用者 PC・プリンター、チラシ等閲覧、図書貸出の利用が通常通り行えなかった。この利用者への影響は、直接的なものだけでなく間接的にも大きく影響したものと思われる。例えば、利用者 PC・プリンターで作成・プリントアウトした資料を印刷機で印刷し、交流サロンで帳合い作業を行い、貸室で行うセミナーで配布するなど、利用者は一度に複数のサービスを利用するため、一部のサービスの停止により、来館自体を取りやめした場合、すべてのサービスの利用件数・利用者数が減ることになる。

■総括

29 年度は、総利用者件数で 17,135 件、(28 年度より 922 件減少)、利用者総数 63,902 人 (28 年度より 2,215 人減少) であった。情報利用者数※9,248 人の参考人数を加えても合計利用者数は、73,150 人と、28 年度の 76,250 人から大幅に減少した。

利用者数	件数/人数	
	28 年度	29 年度
総利用者件数	18,057	17,135
利用者総数	66,117	63,902
情報利用者数(参考)	10,133	9,248
合計利用者数	76,250	73,150

※情報利用者数

1F でチラシ、NL、黄色い台などの情報を閲覧もしくは収集している方。PC 利用、図書の貸し出し利用者は含めない。

機能強化による改装工事に伴うサービス停止期間が大きく影響し、使用率が増加した貸室はなく、貸室全体の利用件数が 173 件減(28 年比 95%)、利用人数が 1,838 人減(28 年比 96%)となり、各サービスの利用状況も減少した。しかし、直積的影響が比較的少なかったフリースペース利用での落ち込みは小幅にとどまり(利用件数▲142 件 97%、利用人数▲282 人 98%)、情報揭示受付は 3,914 件と 28 年度

	28 年度		29 年度	
	件数	人数	件数	人数
貸室利用	3,207	50,092	3,034	48,254
フリースペース利用	5,422	14,965	5,280	14,683
印刷機利用	1,225	—	1,040	—
情報揭示受付	3,881	—	3,914	—
利用者 PC 利用	1,338	—	1,064	—
相談	861	993	790	930
レターケース取扱い	1,968	—	1,906	—
来訪者	18	67	16	35
図書貸出	137	—	91	—

の 3,881 件から 33 件増となった。このことから、減少の原因は、機能強化による改装工事に伴うサービス停止期間の影響であると思われる。次年度以降、1 階フロアの改装、交流サロンのサービス向上によるフリースペース利用や情報揭示受付の増加に期待したい。

29 年度諸室、フリースペースの利用状況は、集計数値の各項目で低調な結果となった。対 28 年度では大幅な減少傾向となるが、対 27 年度では、ほぼ同値で、機能強化による改装工事に伴うサービスの停止が全てに影響を及ぼした結果と思われる。

諸室を利用した団体のうち利用回数が多い順に上位 50 団体の上位 5 位の種別を見ると「国際交流・協力」が 10 団体と最も多く、次いで「学生団体」「福祉」「人権・ジェンダー」「子ども・社会教育」と続く。28 年度で最も多かった「学生団体」が 2 位になり、5 位だった「国際交流・協力」が増えたのは、「国際交流・協力」の団体の活発化とともに団体数の増加もあったことによる。

諸室利用団体種別	上位団体数
国際交流・協力	10
学生団体	9
福祉	8
人権・ジェンダー	5
子ども・社会教育	4

貸室を利用した団体のうち利用回数が多い順に上位 50 団体をみると、上位 3 位の種別は、「福祉」が最も多く 11 団体、2 位に「国際交流・協力」、3 位に「子ども・社会教育」となった。28 年度と顔ぶれは変わらないが、「福祉」と「国際交流・協力」の順位が入れ替わった。

貸室利用団体種別	上位団体数
福祉	11
国際交流・協力	8
子ども・社会教育	6

交流サロンを利用した団体のうち利用回数が多い順に上位 50 団体の上位 3 位の種別は、「学生団体」が 15 団体で特異的に多い。2 位には 28 年度にはなかった「福祉」が入り、「国際交流・協力」と続いた。28 年度と同様「学生団体」の活発な活動状況は継続されており、良い形で若い世代の活動への興味・関心の継承が行われている。

交流サロン種別	上位団体数
学生団体	15
福祉	9
国際交流・協力	5

2-2. 市民活動シアター

市民活動シアター（以下シアター）の29年度（開館日335日）の利用状況は、利用日数125日、利用時間1,070時間で利用率37%だった。利用者人数は、8,181名であった。28年度（開館日335日）と比べると利用日数が▲17日、利用時間▲216時間、利用人数▲374人と減少しているが、27年度よりは増加している。これは、平成28年10月の料金改定の影響で28年度に利用件数が大幅に増加したが、その影響が落ち着いたものと思われる。

	27年度	28年度	29年度
利用日数	98	142	125
利用時間	922	1,286	1,070
利用率	29%	42%	37%
利用人数	7,198	8,555	8,181

申込件数を開館日数で割った年間利用率を算出すると、29年度の申込件数からの年間利用率は40%となった。これは、同一日での複数団体利用が多かったことが影響している。曜日別では、土日が多く、次いで金曜日、月曜日と続く。土曜日は28年度より利用率が上がっており、平日と土日での利用の差が広がっている。

	月	火	水	木	金	土	日	年間	28年度
申込件数	12	5	8	10	16	45	37	133	152
内自己使用件数	5	2	4	6	6	6	3	32	51
年間利用率	24%	10%	28%	20%	31%	87%	73%	40%	42%
28年度利用率	33%	29%	13%	38%	49%	69%	73%	42%	

※1日に複数件の利用もあるため、申込件数と利用日数は整合しない。

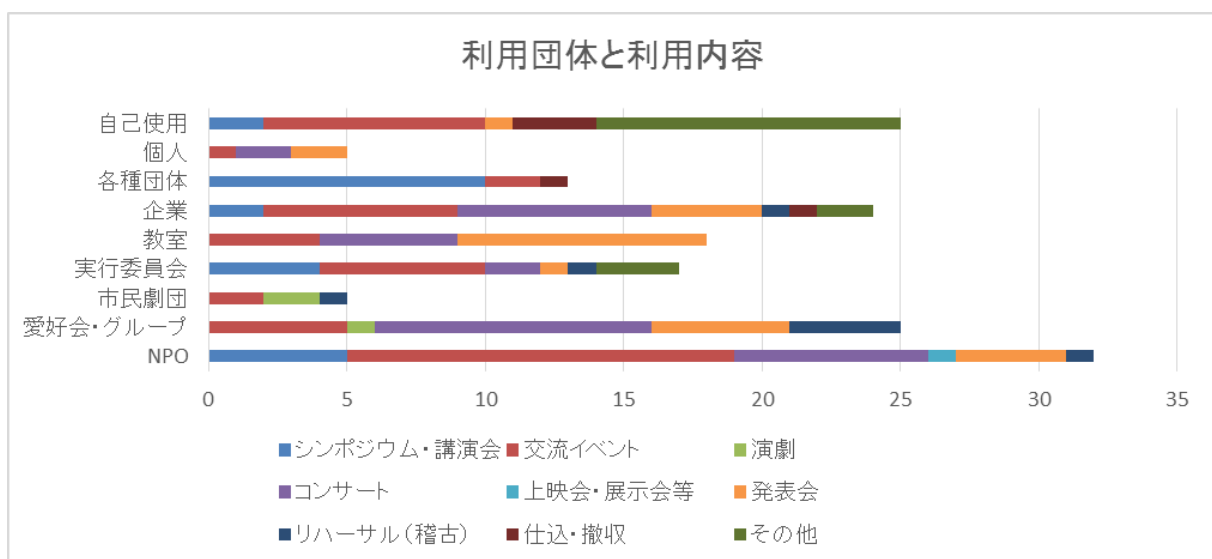
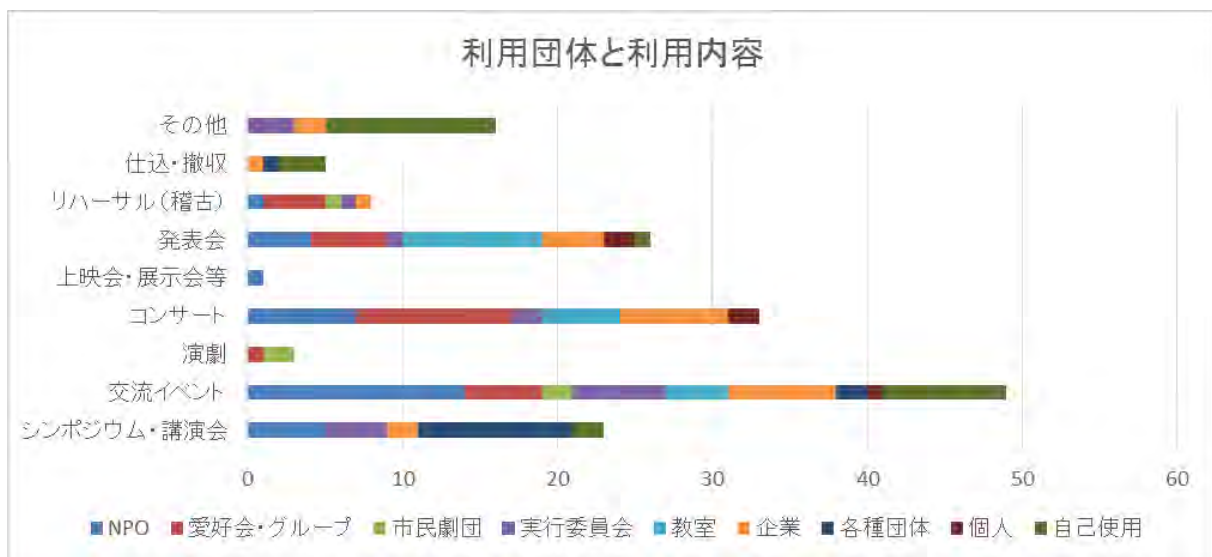
利用団体数は、76団体でNPO（18団体）・愛好会グループ（14団体）が多く、利用内容は、交流イベント（49件）・コンサート（33件）・発表会（26件）・シンポジウム/講演会（23件）の順が多い。

28年度と使用内容の順位が変わり、コンサートより交流イベントでの利用が多くなった。平成28年10月の料金改定で、営利と非営利で異なる料金体制が導入されたことから、NPOなど非営利の利用が気軽になったことが理由と考えられる。

利用団体種別	団体数	
	28年度	29年度
NPO	11	18
愛好会・グループ	7	14
市民劇団	6	2
実行委員会	3	9
教室	11	10
企業	4	9
各種団体	9	11
個人	3	3
利用団体合計	54	76
自己使用	1	1
合計	55	77

使用内容	開催件数	
	28年度	29年度
シンポジウム・講演会	35	23
交流イベント	41	49
演劇	11	3
コンサート	45	33
上映会・展示会等	3	1
発表会	18	26
リハーサル(稽古)	7	8
仕込・撤収	4	5
その他	39	16

※使用内容は複数回答にて集計



2-3. 共同事務室（事務用ブース）

事務用ブースは、平成 29 年 8 月に 1 団体が期間満了により退去し、19 期（平成 29 年 9 月より）新規入居団体が 3 団体入居。29 年度末現在で、4 団体が入居しており、開館以来の延べ入居団体は 74 団体となっている。

機能強化に伴う改装にて事務用ブースが 10 ブースから 7 ブースに変更となったが、改装後 1 月より追加新規募集を募り、6 月入居にて空き 3 ブースを募集・審査している。

入居団体の利用状況では、29 年度は、利用団体数が増えたにもかかわらず件数・人数とも減少した（対 28 年度：利用件数▲60 件、利用人数▲357 人）。

事務用ブース 利用状況	平成 28 年度	平成 29 年度
利用件数	435	375
利用人数	839	492

29 年度も引き続き、入居団体が個々に持つ資源や情報を入居団体同士で交換するための「情報交換会」を実施した。平成 29 年 12 月に開催した情報交換会では、退去してから 1 年以上経過した団体も参加して従来にない活発な情報交換の場となった。

（1）情報交換会

□平成 29 年 8 月 25 日（金）

- ・ 入居団体 4 団体及び退去団体 1 団体 計 7 名
市民協働推進課 1 名
サポートセンタースタッフ 2 名 参加
- ・ 活動報告と今後の予定、情報交換・交流、新規入居団体紹介 etc

□平成 29 年 12 月 7 日（木）

- ・ 入居団体 4 団体及び退去団体 2 団体 計 7 名
市民協働推進課 1 名
サポートセンタースタッフ 2 名 参加
- ・ 活動報告と今後の予定、情報交換・交流 etc

◆第 19 期事務用ブース入居団体◆

平成 29 年 9 月 1 日時点

- ・ブース No.1 明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会
- ・ブース No.2 NPO 法人 宮城県キャリアコンサルタント協会
- ・ブース No.3 個人型確定拠出年金普及会
- ・ブース No.4 宮城県勤労者山岳連盟

平成 29 年 8 月 31 日にて退去

日本勤労者山岳連盟宮城県連盟朋友会

- ・ NPO 法人仙台・みやぎ消費者支援ネット更新期間満了にて退去

2-4. ロッカー、レターケース

ロッカー、レターケースでは19期（平成29年9月～平成30年8月）の募集を行った。

ロッカーの29年度年間平均使用率は、大100%、中90%、小72%となり、28年度より中の使用率が下がった。機能強化のための交流サロン改装に伴ったロッカーの設置数変更により、2月より小が60台と従来より20台少ない設置数となったため、2月、3月の月次利用率が94%と上昇している。20期（平成30年9月～使用分）の募集では、改装ですでに設置済みの大6台を追加し、大16台、中28台、小60台の利用を募集する。ロッカー小の利用率が高くなっているため、現在、残余ロッカーを有効利用するために運用している1団体最大3個までのロッカー使用を認める特例を継続すべきか否か検討が必要である。

年平均利用状況		28年度	29年度	年度差
ロッカー 利用状況 (利用率)	小	71%	72%	1pt
	中	95%	90%	▲5pt
	大	100%	100%	—
	全体	79%	79%	—
レターケースの利用状況(利用率)		55%	53%	▲2pt
レターケース 取次ぎ件数	郵便(件)	1,822	1722	▲100
	FAX(件)	146	184	+38

使用 数	設置数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 使用 率
	～ 1月	2月 ～													
小	80	60	54	55	55	55	55	53	53	55	55	55	56	57	72%
中	28	28	25	25	25	26	26	24	24	26	26	26	26	25	90%
大	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100%
計	118	98	89	90	90	91	91	87	87	91	91	91	92	92	79%
月次利用率			75%	76%	76%	77%	77%	74%	74%	77%	77%	77%	94%	94%	

レターケースの平均利用率は、53%で27年度（57%）28年度（55%）と利用低下が続いている。取次件数も、1,906件で、27年度（2,277件）28年度（1,968件）と引き続いて減少している。26年度では3,326件あったことからメールなどのWEBツールの活用が進んでおり、郵便・FAXの利用自体が減少していることが顕著に影響していると考えられる。今後のサービスの利用方法の提案を含めたありかたを検討する必要性が高まっている。

レターケース 利用数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 利用 率
設置数 168	90	91	91	91	93	84	85	90	90	90	91	91	—
月次利用率	54%	54%	54%	54%	55%	50%	51%	54%	54%	54%	54%	54%	53%

レターケース 取次 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	計	月間 平均 件数
郵便	136	181	147	168	105	107	92	117	118	157	155	239	1,722	144
FAX	15	28	8	2	7	9	13	4	37	12	22	27	184	15.3
計	151	209	155	170	116	116	105	121	155	169	177	266	1,906	159

【活動報告書】

ロッカー、レターケース利用団体には年2回、事務用ブース利用団体には年4回活動報告書をご提出いただいている。

活動報告の提出状況では、19期利用団体へ平成27年8月～平成30年2月までの期間で3月31日までに提出期限として、ロッカー利用団体69団体、レターケース利用団体92団体より提出を受付している。

「市民への公開情報」といった趣旨で依頼しているが、提出が遅延する傾向がある。ロッカー、レターケース利用申込のための提出書類認知訴求とともに活用方法を含めた検討の必要性もあるように思われる。

2-5. パソコン、印刷機

■パソコン

今年度の利用者用パソコン利用は、1,064 件で、28 年度の 1,338 件を 274 件下回る。過去 5 年間で 2 番目に低い利用状況で、Wi-Fi の導入以来、施設設置のパソコン利用が減少している傾向が見て取れる。

パソコン 利用状況	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
合計	943	1,194	1,463	1,338	1,064

■印刷機

印刷機利用は、件数で 1,040 件、枚数は 1,052,835 枚で、28 年度（件数 1,225 件、枚数 1,038,298 枚）より利用件数は 185 件減少したが、利用枚数では 14,537 枚増えた。29 年度は印刷機を 1 台入替え、片面印刷 2 台で運用を行った。28 年度には両面印刷機 1 台と、片面印刷機 1

印刷機 利用状況	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
利用件数(件)	1,675	1,595	1,458	1,225	1,040
利用枚数(枚)	1,256,828	1,258,520	1,222,901	1,038,298	1,052,835

台だったが、両面印刷機が両面印刷使用時に印刷枚数のカウントが 1 枚カウントであったのに対し、片面印刷機で両面印刷を行う場合は、印刷枚数が 2 枚カウントされ 2 倍になる。このことを考慮すると印刷枚数も 28 年度より減少したと考えられる。持込まれるチラシ等を見ると多色刷りが増えており、印刷機利用の印刷物の内訳でも見られるようにチラシの単色刷り需要が減り、資料等の需要で利用されている状況と言える。（資料 3 よりコピー機の利用枚数は 9,081 枚、対前年 62%）

印刷物の内容は、チラシが 29 年度 351 件で、28 年度 519 件より 168 件減で大きく減少した。前述の考察を裏付ける結果といえる。（※一度の印刷で、「チラシとニュースレター」というように複数の物を印刷する場合があるため、内訳の合計と印刷利用件数は一致しない。）

印刷機	印刷物の内訳		
	チラシ	ニュース レター	その他
4 月	66	6	76
5 月	25	13	87
6 月	41	3	60
7 月	31	6	45
8 月	33	15	47
9 月	20	8	61
10 月	28	3	40
11 月	31	8	37
12 月	17	4	32
1 月	17	7	41
2 月	17	5	32
3 月	25	7	56
計	351	85	614
28 年度	519	70	615

3. 情報の収集・提供

3-1. 情報揭示等利用

市民活動団体のチラシ、ポスター、ニューズレターなど情報揭示利用件数は、3,914 件で 28 年度比 101%と微増だった。

情報の種別でみると、ポスター、ニューズレターについては 28 年度を下回っているが、チラシが 28 年度を上回っている。

仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（通称：骨プロ）の利用件数は 788 件と 28 年比 96%となった。平成 30 年 2 月より「せんだい環境学習館 たまきさんサロン」が新たに参加し、参加施設が 12 施設となった。3 月末日を持ってチラシの電子化サービスを終了した。

■情報揭示等利用件数

	27 年度	28 年度	29 年度
チラシ	2,336	2,369	2,372
ポスター	271	249	269
ニューズレター	1,287	1,275	1,273
計	3,894	3,893	3,914

■仙台に情報の背骨を通すプロジェクト利用件数（通称：骨プロ）

	27 年度	28 年度	29 年度
年度計	796	817	788

■骨プロ参加施設(平成 29 年 3 月末時点 12 施設)

- ・仙台市生涯学習支援センター
- ・せんだいメディアテーク
- ・日立システムズホール仙台
- ・エル・パーク仙台
- ・エル・ソーラ仙台
- ・仙台市ボランティアセンター
- ・のびすく仙台
- ・のびすく泉中央
- ・のびすく長町
- ・戦災復興記念館
- ・せんだい環境学習館 たまきさんサロン
- ・仙台市市民活動サポートセンター

3-2. 団体情報の蓄積

団体情報ストック数は県内外あわせ4,691団体で、28年度から12件のみ増加した。団体情報は、サポートセンターに持ち込まれたチラシ・ニューズレター・パンフレット等を保存し蓄積してきたもので、サポートセンター利用者を軸にした市民活動団体の情報である。これらのファイルは、市民活動団体の活動状況のアーカイブとしての機能を果たしている。平成29年度は機能強化に伴い3階情報サロンにコーナーを移設した。

分野	情報利用 *1			
	団体数	構成比	県内	県外
福祉	548	12%	466	82
健康・医療・スポーツ	467	10%	391	76
環境	608	13%	421	187
まちづくり	563	12%	494	69
子ども・教育	600	13%	479	121
人権・ジェンダー	364	8%	258	106
国際交流・協力	340	7%	211	129
文化・芸術	690	15%	602	88
市民活動支援	334	7%	102	232
その他	177	4%	141	36
計	4,691	100%	3,565	1,126
28年度累計蓄積数	4,679		3,554	1,125
28年度比	100%		100%	101%

■ 団体情報ストック数分野別集計(平成29年度累計蓄積数)

*1 情報利用：団体情報の蓄積数

3-3. 市民活動団体への情報提供

サポートセンターでは、市民活動に役立つ情報をテーマごとに編集した「市民活動お役立ち情報」を利用者向けに提供している。

これは、館内のチラシラックに配架し、自由にお持ち帰りできるほか、ホームページからもダウンロードできるようにしている。このサービスは必要なテーマだけ自由に選択できることもあり、好評である。今年度の発行総数は昨年度と比較して、全体的に減少傾向にあった。

平成 27 年 11 月から追加した NO. 11「チラシを作るコツ」は、印刷ペースとしては突出して高い印刷枚数を記録した。情報発信に関する情報提供のニーズが高く、テーマ設定が適切であったことが伺える。次点として、「助成金のいろは」も高い印刷枚数であったが、このテーマは例年高い数値を記録している。活動資金の獲得ニーズが高いことと同時に、そもそも助成金についての基礎的知識の獲得が求められていることが伺える。

また、平成 28 年度から NO. 12「イベント実施ノウハウ」を追加しているが、今年度の中でも比較的高い印刷枚数を記録している。実際に市民活動を始めると、活動に関わる全てのことが初めての体験となる。そのため、現実的な企画立案から事業実施までのノウハウの情報提供についても、ニーズが高いテーマであると考えられる。

その他、「チラシ・ポスターを置けるスペース」は依然として人気が高いテーマである。

■お役立ち情報 印刷状況（平成28年度累計）

NO.	テーマ	H27年度	H28年度	H29年度
1	NPOってなんだろう？	324	420	370
2	チラシ・ポスターを置けるスペース	329	430	420
3	市民活動団体が利用できる機材一覧	298	400	270
4	仙台市内ホールマップ	245	390	270
5	ボランティア相談窓口	215	400	270
6	助成金のいろは	306	400	450
7	規約の作り方	226	400	320
8	報告書の作り方	262	400	270
9	メディア活用大作戦	303	450	370
10	名義後援って、どうやって受けるの？	224	400	270
11	チラシを作るコツ	240	600	520
12	イベント実施ノウハウ※		560	420
	合計	2,972	4,090	3,280

※「イベント実施ノウハウ」は平成28年6月から配架。

3-4. 図書の貸出

29年度の図書貸出件数は91件、貸出冊数は152冊と、28年度と比べ貸出件数が64%に留まった。機能強化による改装工事に伴い、平成30年1月25日～2月14日まで、図書の貸出を停止した他、蔵書を2,353冊廃棄したことも影響していると思われる。

また、平成30年2月15日以降は、改装により図書を配架できるスペースが限られることから、図書の配架方式をこれまでの開架方式から、企画展示方式に変更した。

今後は市民活動や協働の推進に係るテーマを設定し、企画展示を実施し無関心層への啓蒙や活動者への情報提供を行なっていきたい。

■図書登録、貸出件数

	27年度	28年度	29年度
登録者数（人）	54	18	24
貸出件数（件）	210	142	91
貸出冊数（冊）	307	221	152

より多くの方へサポートセンターの情報や市民活動に関する情報を届けるため、情報発信の対象によって、広報ツールを使い分け、情報発信を行っている。明確な広報戦略を意識することで、紙媒体・WEB 媒体それぞれの役割も明確になり、質が向上した。事業全体の広報戦略にも好影響を及ぼしている。加えて、事業と連携し、事業参加者のその後の活躍を情報発信でサポートできた。

(1) サポートセンター通信「ぱれっと」の発行

ぱれっとの役割は、市民活動やNPOに関心のない人に情報を届けるということ。

情報発信をする側になった市民、学生によってぱれっとが拡散され、読者層が広がった。

(2) ホームページの管理

ホームページでは、サポートセンターの機能紹介と事業に関する告知を行った。

特に、平成 30 年 2 月に実施したマチノワ WEEK に伴い、平成 30 年 1 月～2 月は事業広報を

21

関しては、1,129 件となった（資料 10 参照）。連携機関と連携した広報、ゲスト等による SNS での拡散の効果でもある。

現代において多くの人が情報収集と発信をインターネットで行っていることから、SNS の活動は欠かせないとする。各事業参加者アンケートや相談票から、サポートセンターの情報入手する方法として、ホームページ・ブログが活用されていることが分かっている。

（３）ブログの管理

サポートセンターの日常的な情報発信ツールとして、仙台の市民活動情報や震災復興関連情報を掲載。ボランティア募集情報や助成金情報など、速報性やニーズも意識しながら、頻繁に更新を試みた。マチノワ縁日・マチノワラボ・マチノワ WEEK vol.2 などの広報期間および開催報告期間のページビューの伸びが目立つ。年間総計で 517,242 のページビューがあり、28 年度の 353,746 から大きく増加した。共催団体・ゲスト・参加者などが各自の媒体で情報発信を行った結果と考えられる。

更新頻度を上げ、維持していく体制整備を引き続き行う。また、SNS での拡散により、ブログページに誘導していく。

ブログ投稿記事数およびアクセス数

月	H29		
	記事数	訪問者数	PV
4 月	16	2,186	36,027
5 月	19	2,043	45,069
6 月	13	2,019	46,577
7 月	21	2,277	50,887
8 月	14	2,099	47,968
9 月	17	2,113	43,371
10 月	22	2,887	54,656
11 月	23	1,984	43,998
12 月	25	2,550	39,970
1 月	14	2,034	36,339
2 月	34	3,391	35,730
3 月	14	2,719	36,650
計	232	28,302	517,242
28 年度	231	24,163	353,746

（４）twitter の管理

休館日案内、ホームページ・ブログの更新状況等、サポートセンターからののお知らせを拡散させるため運用している。

フォロワーの微増が継続し、平成 28 年 3 月末で 1,800 人近く、平成 29 年 3 月末では 1,884 人、平成 30 年 3 月末にはあと少しで 2,000 人というところまできている。

4. 相談・問い合わせ対応【参照：資料 12-1、12-2、12-3】

(1) 目的

市民活動支援施設として、①施設の活用を含めた利用相談(施設利用)、②市民活動に関わる情報発信及び収集支援(施設サービス)、③専門性を要する市民活動を行う上での個別の運営等の相談(活動相談)を実施し、個人から団体、行政や企業など幅広い主体者に対し、情報の提供や経営相談など専門的な幅広い支援を行う。

(2) 概要

施設開館時間内に、予約の有無を問わず、市民活動に関わる相談を無料にて実施した。

主に窓口にて行う施設利用判断や市民活動団体の情報提供と、NPO 法人の立ち上げや団体運営や資金調達など個別の事案に対して、窓口や電話を問わず相談対応する個別対応を実施した。

(3) 集計方法に関して

27 年度までの相談分類及び集計は、復興支援の内容を中心に記録することを意図していた。しかし、施設利用を新規に行う利用相談や、復興支援に付随する運営相談の件数は震災から 5 年が経過したこともあり、年々減少傾向にあった。また、27 年度の条例改正で新たに示された「自立、連携、創発」という理念や、理念に基づく「相談つながるサロン」の運用のあるべき姿と不整合が発生していた。上述の理由から、現在の仕様に合わせたケース記録、利用者サービスの向上、状況に応じた適切な支援策の提案を目指すため、集計の仕方を検討した。

28 年度からの相談事業の集計項目は、相談者の属性と内容を、仕様、条例理念、これまでのセンター利用者層の観点から変更した。具体的には、相談者主体については、市民(個人)、市民活動団体、町内会、企業(営利組織)、大学(教育機関)、行政、その他に分類している。また、対応内容については、自立、連携、創発、情報、その他に分類している。

集計結果については次の 3 種類の方法で行っている。

①相談サマリー

貸室利用やチラシ配架など、施設利用の問合せを【窓口】、活動内容や運営相談などを【相談】、これらに当てはまらない対応を行った場合に【その他】、事業参加者の所属を集計する【事業】に分類。事業参加者の意見も合わせて記録することにより、利用者サービスの向上に役立てている。ただし、センター事業に複数回参加した場合はカウントされないため、各事業参加者の総数と相談サマリーにおける【事業】集計は一致しない。

②相談集計結果【主訴一相談主体】

上述の相談サマリーのうち【相談】について、相談主体の属性と相談主訴を詳細に集計し

た。27年度までの活動相談では、市民活動基礎相談、活動立ち上げ・運営相談、市民活動専門相談、情報提供・調査の4項目で集計していた。28年度からは、自立・連携・創発の理念に基づいた12項目と細かい分類を行うことで、相談主体の状況に合わせた対応記録と、より具体的な相談の傾向を把握し、相談ニーズの分析を目指した。横軸の【伴走】については、サポートセンター事業「伴走型相談による個別相談」該当候補の相談に関して、新規相談もしくは継続対応について集計した。

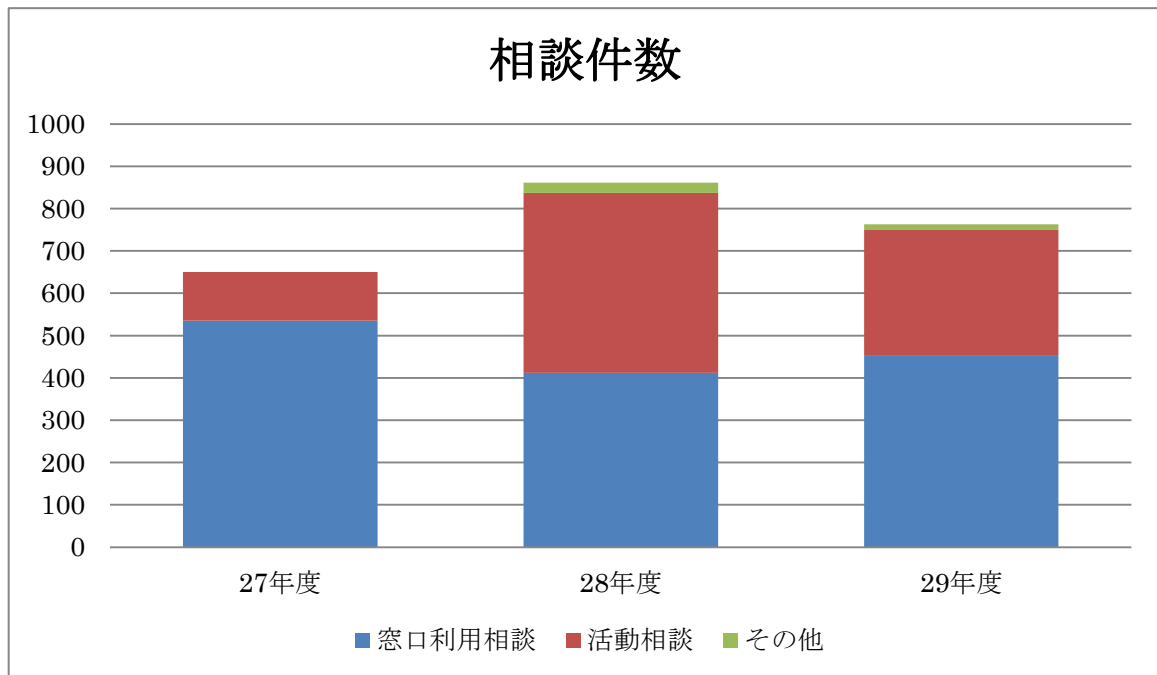
③相談集計結果【内容－相談者】（複数選択あり）

これまでの集計方法では、例えば、NPO 法人と協働する団体が同席した対応や、団体立上げ相談の内容から助成金の相談に移行した場合など、複数の属性や内容を集計していなかった。そこで、対応した全ての内容・相談者を記録し、かつ複数選択を含めることで、柔軟に対応する集計を行った。

（４）成果

①全般

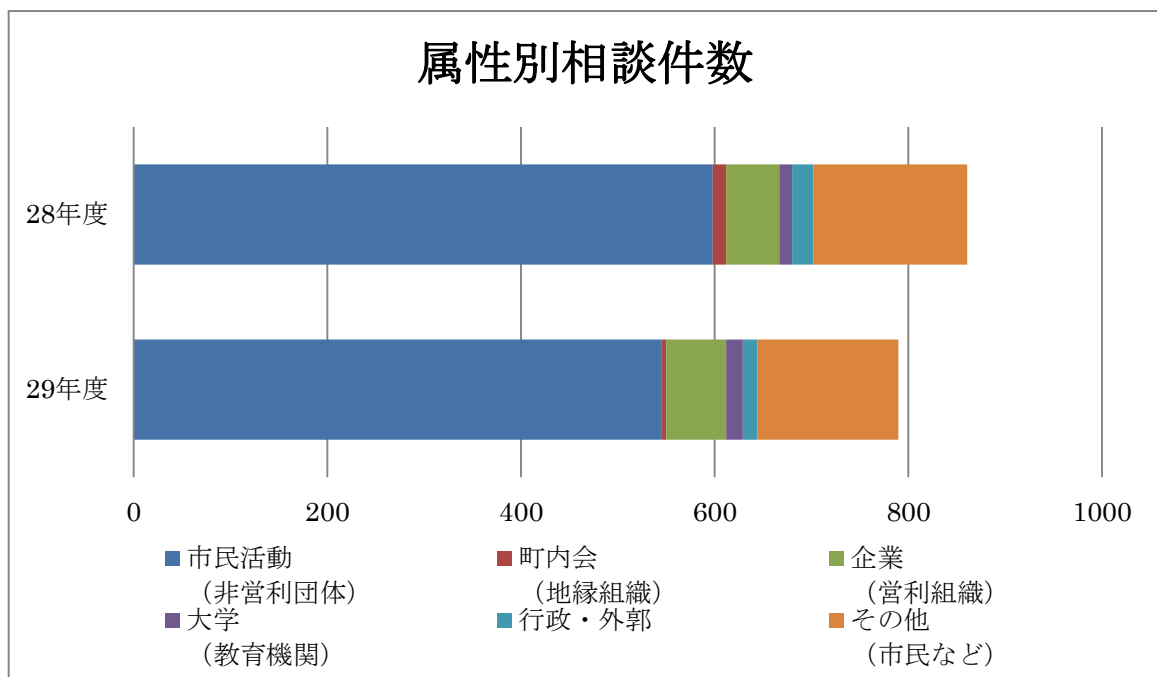
29年度の相談件数は790件（28年度861件、28年度比91%）と減少したが、一昨年度（27年度650件）よりは増加している。29年度の内訳は、活動相談の件数が299件（28年度425件、28年度比70%）と減少したが、窓口の利用相談については452件（28年度412件、28年度比109%）と増加している。また、昨年度と同様、窓口利用相談と活動相談をあわせ「自立」段階の相談がほとんどを占めていた。（資料12-1参照）



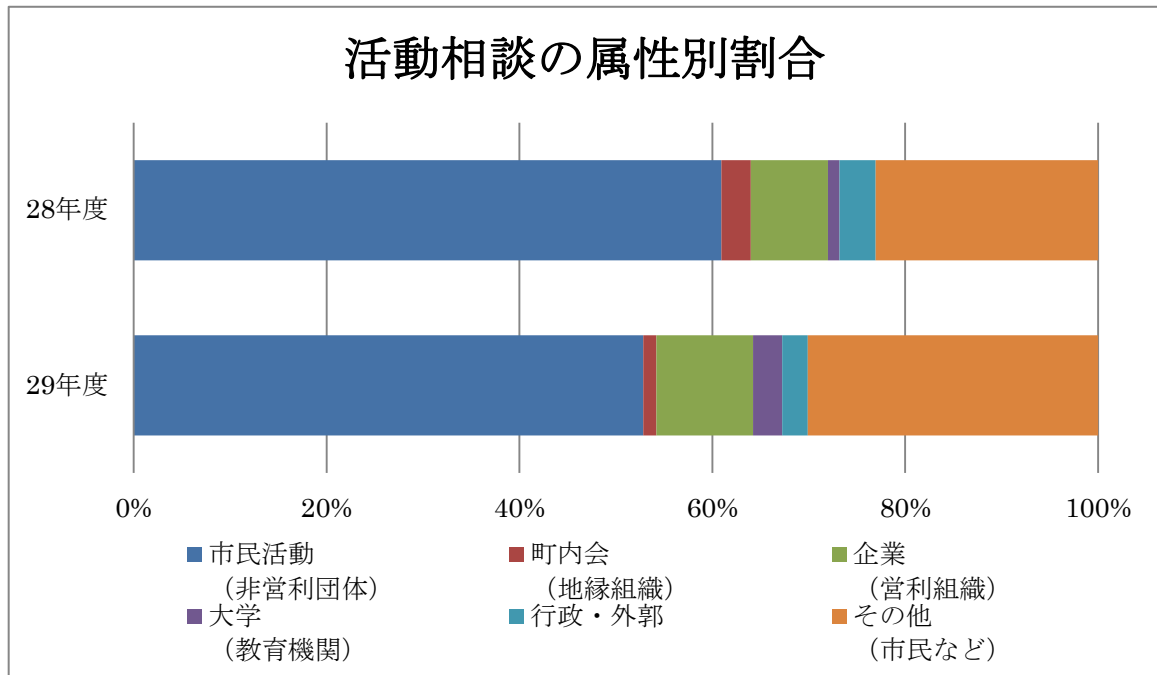
「自立」の相談は、課題解決に取り組もうとする前段階から、NPO 法人の立ち上げ、企画立案、組織運営など、相談者や団体が自立して活動するための対応を集計している。29 年度は 461 件（28 年度 529 件）と件数は減少したが、継続して「自立」段階の相談ニーズが高いことが伺える。

②相談者の背景

相談者の属性は、昨年と比較すると、全体の相談件数が減少（28 年度比 91%）しているため概ね減少傾向であるが、企業（営利組織）と大学（教育機関）からの相談は微増した。具体的には、市民活動（非営利団体）545 件（28 年度 598 件、28 年度比 91%）、町内会（地縁組織）5 件（28 年度 14 件、28 年度比 36%）、企業（営利組織）62 件（28 年度 55 件、28 年度比 113%）、大学（教育機関）17 件（28 年度 13 件、28 年度比 131%）、行政・外郭団体 15 件（28 年度 22 件、27 年度比 68%）、その他（市民など）146 件（28 年度 159 件、28 年度比 92%）。



活動相談については、29 年度は 299 件（28 年度 425 件、28 年度比 70%）と大きく減少したが、その属性を見ると、28 年度に比べ多様な主体から相談が寄せられるようになってきている。29 年度の属性別の活動相談件数は具体的に、市民活動（非営利団体）158 件（全体の 53%）、町内会（地縁組織）4 件（1%）、企業（営利組織）30 件（10%）、大学（教育機関）9 件（3%）、行政・外郭 8 件（3%）、その他（市民など）90 件（30%）であった。28 年度実績は、市民活動（非営利団体）259 件（全体の 61%）、町内会（地縁組織）13 件（3%）、企業（営利組織）34 件（8%）、大学（教育機関）5 件（1%）、行政・外郭 16 件（4%）、その他（市民など）98 件（23%）であり、市民活動（非営利団体）の割合が下がり、企業（営利組織）や大学（教育機関）からの割合が増えた。



③相談主訴

貸室やチラシ配架サービスなど、窓口での施設利用相談は、452 件（28 年度 412 件、28 年度比 109%）であった。窓口の利用相談から活動相談につながるケースも見られた。

活動相談の主訴を「自立」「連携」「創発」「情報」「その他」の各段階に分類すると、「自立」の段階が 184 件で最多。「連携」21 件、「創発」2 件、「情報」61 件、「その他」31 件だった。サポートセンターに寄せられている活動相談の多くが、「自立」の段階の相談であり、現在のところ「創発」の段階の相談（制度等の相談、政策提言について）は、まだまだ少数である。

相談主体を見ると、任意団体、市民（個人）については「課題解決に取り組もうとする段階の相談」を主訴としている相談が多く、任意団体 47 件、市民 42 件であった。活動の立ち上げ相談や、何かを始めたい個人の想いの整理などが、多くを占めている。NPO 法人については「組織運営基盤に関する相談」が 24 件と最多。助成金相談を始めとする資金調達に関する相談や、広報に関する相談が多く寄せられている。企業は「情報収集」が多い傾向にあり、社員のボランティア先として団体を探すケースなどがここに含まれる。また、行政・外郭からも「課題解決に取り組もうとする段階の相談」が多かった。ほとんどが、サポートセンターとすでに連携している仙台市の各課からで、事業の企画立案についての相談であった。

④相談内容

複数選択による集計結果を見ると、「自立」が 254 件と最多。次いで「情報収集・情報提供」が 111 件となった。また、相談主訴に対する単純な回答ではなく、付随する情報提供を行うことで、幅広い支援を行っている。具体的には、助成金情報、協働する見込みのある団体情報、団体間ネットワークに関する情報提供などである。

活動相談の内容・相談者について「自立」「連携」「創発」「情報」「その他」の各段階に分

類すると、「自立」の段階が 254 件と最多。「連携」57 件、「創発」9 件、「情報」111 件、「その他」41 件。相談主訴件数と照らし合わせると、「連携」と「情報」の増加が大きい。相談者の質問に対しそのまま回答するだけでなく、関連する団体の紹介や、連携・協働を促すなど、主訴に付随する情報提供を行っているため、「連携」と「情報」が増加する傾向にある。

「自立」の相談の中でも「課題の解決の取り組みもうとする段階の相談」が 129 件と最多であることから、何らかの課題に対する具体的な企画立案や組織運営以前の、相談者の取り組みたい課題や思いを整理する段階から対応できることに、サポートセンターの相談ニーズがあることが伺える。

「自立」→「連携」→「創発」という流れを考えると、第 1 ステップの「自立」に関する相談が多いのは自然なことではある。しかし、29 年度の相談件数をみると「自立」の割合が極端に多い。特に、「創発」についての相談件数は、29 年度は主訴が「創発」であるものが 2 件、複数選択可能な相談内容で見ても 9 件で、28 年度の主訴 13 件、相談内容 40 件から大きく減少した。この背景には、市民協働事業提案制度の事前相談件数が 5 件から 1 件と減少したことから、それに関連した相談が減少したことが大きい。今後は、市民協働事業提案制度自体の市民への周知も行っていくことも必要である。

⑤その他

仙台市市民協働推進課の仙台市市民協働事業提案制度の事前相談および、協働まちづくり推進助成制度の事前相談に対応している。

28 年度から継続して、せんだい創業支援ネットワークの構成団体として、公益社団法人仙台市産業振興事業団が運営する仙台市企業支援センター「アシ☆スタ」と連携し、「起業・創業なんでも相談 DAY」に出張相談員として参画している。また、太白区中央市民センターの事業協力、太白区まちづくりサロンにアドバイザーとして参与、宮城野区中央市民センターの事業企画など、地域機関による事業実現のための相談にも応じている。

5. 交流・連携・その他

5-1. 外部組織との連携

他組織とサポートセンターの連携を深め、効果的な管理・運営を行うため、下記のネットワーク会議などへ参加や、イベント運営協力を実施した。

会議名、連携先	日程	内容
会議・事業連携等		
宮城野区中央市民センター	4月14日、 5月2日、16日、27日、 6月24日、 7月8日、 8月30日、 9月2日、9日、15日、 10月6日、31日、 12月2日、9日、12日、 2月16日、～3月13日	連携事業「まいぷろ」
太白区まちづくり推進課	4月17日、9月29日 10月15日	連携事業の相談 打合せ 区民まつり出展
宮城野区まちづくり推進課	7月28日	活動助成金相談
アシ☆スタ	4月19日、 5月17日、 6月21日、 7月19日、 9月20日、 10月18日、 11月15日、 1月17日、 2月21日、 3月20日	起業・創業なんでも相談
せんだい創業支援ネットワ ーク	7月18日	会議
ビジネスグランプリ実行委 員会	7月18日	会議
協働のまちづくり推進委員 会	7月26日、 9月12日、	オブザーバー参加
協働のまちづくり推進委員 会アクションチーム	4月28日、 7月6日、20日、 8月21日、24日、 9月8日、11日、14日、 21日	協働事例集打合せ 取材
仙台若者アワード実行委員 会	11月7日 11月16日	打合せ 説明会参加
仙台市社会福祉協議会	8月2日、 11月17日	ボランティア・市民活動ネットワ ーク会議
宮城野区社会福祉協議会	10月3日	打合せ

仙台スポーツ・サポーターズ	9月28日、 10月18日、 12月20日	ネットワーク会議
仙台市生活設計合同説明会	10月27日	サポートセンター機能紹介
東北工業大学	9月29日 10月20日	講座打合せ 講座講師
イベント参加		
日本 NPO 学会	5月23日	震災特別プロジェクト東北班調査 最終報告会参加
多賀城市立図書館「現代の貧 困について考える」	7月2日	トークイベント参加
みやぎソーシャル支援ネッ トワーク	9月16日	シンポジウム参加
アディクション・フォーラム	10月7日	参加
宮城県	10月18日	プロボノセミナー参加
地星社	10月19日	被災地における福祉系・地域系支 援員調査事業報告会参加
LOCAL GOOD SENDAI	11月6日	インフォグラフィック講座参加
みやぎ NPO プラザ	11月25日	「NPO で働く人の交流会」参加
平成 29 年度大学間連携災害 ボランティアシンポジウム	12月16日	参加
その他		
宮城野高校	11月10日	総合学習対応
中学生職場体験受け入れ	11月14日～16日	五橋中学校

5－2．会議・研修

サポートセンターの管理・運営を円滑に、かつ効果的に行うため、下記のように各種会議（打ち合わせ）を開催した。

○仙台市と指定管理者との定例打ち合わせ

開催頻度：1回／月

所要時間：約2時間／回

内容：管理運営状況の報告・連絡・相談や懸案事項の協議

○施設運営会議

開催頻度：2回／月

所要時間：約2時間／回

構成メンバー：センター長、副センター長、および各主任

内容：各部門・事業の進捗管理とサポートセンター運営に関する課題や懸案事項に関する協議

○ケースミーティング・全体ミーティング

開催頻度：2回／月（休館日活用）

所要時間：1時間／回

内容：相談業務および施設運営管理についての共有や研修。

○チームミーティング、部門会議、各事業ミーティング

随時開催

○研修

各種研修へ随時参加

内容：外部研修では、NPO 中間支援組織の新人および職員対象者への全国規模の研修の他、下記の各研修に参加した。また、内部研修として NPO 中間支援組織に在職する職員ならば知識として知っておくべき対人援助業務に関するもの、協働、組織マネジメントについてなどのさまざまな研修を行った。

外部研修参加日程表

日程	内容
5 月 24 日	市民協働推進課 NPO 認証係 NPO 法勉強会
6 月 15 日	みやぎ NPO プラザ「NPO 支援センター研修」
6 月 16 日	宮城県社会福祉協議会「ボランティアコーディネーター研修会」
7 月 7 日	宮城県社会福祉協議会「ボランティアコーディネーター研修会」
7 月 14 日	日本 NPO センター「NPO と行政の対話フォーラム ‘17」
8 月 23 日	仙台市「不当要求対応研修」
8 月 29 日～30 日	甲種防火管理新規講習
10 月 10 日～11 日	日本 NPO センター中堅者研修
11 月 22 日	新・仙台市環境行動計画管理研修
12 月 5 日～6 日	日本 NPO センター中堅者研修
12 月 12 日	宮城県社会福祉協議会「ボランティアコーディネーター研修会」
1 月 26 日	消防用設備等の点検報告に係る説明会参加

5－3．視察・見学対応

29年度の視察対応は、13件、46名と28年度（18件、67名）に比べ若干減少している。

視察の目的としては、公設民営の中間支援施設としての運営状況や手法、行なっている取り組みについてが全体的に多く、また、全体的なレイアウトや情報の掲示の仕方も視察の目的となっていた。（資料14参照）

5－4．防災避難訓練

消防法に基づき防災避難訓練を2回実施した。

○実施日：平成29年9月13日（水）

平成29年9月27日（水）

○参加者：サポートセンタースタッフ

防災の日に伴い、第二、第四水曜日の休館日を利用して防災訓練を2回実施。

平成29年9月13日（水）災害時・非常時の初動確認のワークショップ。

平成29年9月27日（水）通報訓練、避難訓練、消化訓練を行なった。

5-5 施設の維持管理

(1) 屋上モニュメント補修工事

- 実施日：平成 29 年 8 月 2 日（水）
- 工事内容：劣化が目立つ部分の補修を行った。

(2) 1 階～2 階の大理石階段改修工事

- 実施日：平成 29 年 11 月 2 日（木）
- 工事内容：業者作業中、大理石の一部分を破損したため改修工事を行った。

(3) 屋上防水工事

- 実施日：平成 29 年 11 月 6 日（月）

(4) 火災報知設備等入替え工事

- 実施日：平成 29 年 12 月 12 日（火）～13 日（水）

(5) 外壁打診調査および補修、屋上モニュメント撤去

- 実施日：平成 30 年 1 月 10 日（水）～2 月 19 日（月）

(6) 非常用発電機制御装置改修工事

- 実施日：平成 30 年 1 月 30 日（火）～31 日（水）

(7) 7 階機能強化改修工事

- 実施日：平成 30 年 1 月 29 日（月）～2 月 1 日（木）

(8) 5 階機能強化改修工事

- 実施日：平成 30 年 2 月 1 日（木）～4 日（日）

(9) 1 階機能強化改修工事

- 実施日：平成 30 年 2 月 5 日（月）～9 日（金）

(10) 3 階、4 階研修室 3 機能強化改修工事

- 実施日：平成 30 年 2 月 14 日（水）、28 日（水）

(11) 7 階内線 70 電話機移設工事

- 実施日：平成 30 年 3 月 14 日（水）
- 工事内容：機能強化に伴いブース設置の間仕切りに変更が生じ、既存の内線電話の位置では使用不可能になったため、移設を行った

■平成29年度仙台市市民活動サポートセンター 年間行事

資料 1

実施事業				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考		
機能強化のための施設改装に伴う対応						13日 市と打合せ	26日 協働まちづくり 推進委員会	3日～30日 利用者 ヒアリング	6日 学都仙台 移転下見対応 12日 協働まちづくり 推進委員会 15日 市と打合せ	30日、31日 業者対応	29日 市と打合せ	1日、15日、22 日 市と打合せ 21日 業者対応	25日～2月14日 図書停止 28日～2月2日 ブース停止 30日～2月5日 ロッカー停止 29日～ 工事開始	1日～4日 5階停止 5日～11日 1階停止 7日 自動ドア不具合 14日、28日 3階、4階工事	2日 業者対応 14日 内線工事 28日 最終工事			
施設運営				事務用ブース			5日情報交換会 12日～ 募集	14日 期間				7日 情報交換会						
				ロッカー、レターケース						6日～21日 募集期間								
情報収集提供業務				発展	1-1	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務		協働コーナー フリーペーパー		協働コーナー 秋田のまちづくり	協働コーナー 八戸のまちづくり		協働コーナー 町内会による まちづくり		ギャラリー 3. 11 バーフルデー			
				発展	1-2	施設機関紙やWEB媒体での発信による 市民活動や協働の情報提供		機関紙 発行	機関紙 改訂	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行
相談業務				継続	2	多様な相談に対する対応の実施		19日 アシスタ	17日 アシスタ	21日 アシスタ	19日 アシスタ 27日 協働相談	20日 アシスタ ワンポイント講座	18日 アシスタ	15日 アシスタ	17日 アシスタ	21日 アシスタ 協働相談	20日 アシスタ 協働相談	相談対応は随時
自立	市民活動者の育成			継続	3-1	市民活動を「知る」「体験」「学ぶ」機会づくり			29日 ハジフク		30日 まちあるき 北仙台・北山				24日 マチノワ ストーリー			
				継続	3-2	市民メディアの担い手育成						4日、10日、 14日～22日 市民ライター 講座	1日、7日 市民ライター 講座	17日 ライター講座 課外活動 キックオフ	21日 講座参加者 交流会	25日 公開編集会議		
	市民活動力強化			継続	4	市民活動初心者の人材育成・活動力強化			24日 企画運営基礎 企画書作成	29日 企画運営基礎 イベント広報			18日 助成金基礎 見せ方アピール	27日 運営・人財育成 会計				
	市民活動団体の組織運営基盤			新規	5	市民活動団体の組織運営基盤強化							19日 アクションプラン スクール	9日、23日 アクションプラン スクール	13日スクール 14日 活動資金 ネット活用			
連携	市民活動団体のネットワーク化支援			新規	6	市民活動団体の交流機会の創出			30日～ ブース出展 募集開始	16日、17日 ブース出展 説明会	29日 マチノワブース		31日～ ブース出展 募集開始	25日 ブース出展 説明会	21日 ブース出展 説明会	20日、26日 ブース出展 説明会	24日、25日 マチノワブース	
	多様な主体による協働の推進			新規	7	多様な主体による協働の推進			27日 まいふろ	24日 まいふろ	8日 まいふろ 29日 マチノワ縁日		15日 太白区民まつり	5日 太白区秋まつり	9日 まいふろ	21日～27日 マチノワWEEK 21日～ まいふろ展示	～13日 まいふろ展示	その他、関連機関と継続 的に情報交換を実施
	多様な主体による 協働を推進するノウハウ抽出			継続	8	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有			11日 マチノワラボ	24日 マチノワラボ			26日 マチノワラボ	27日 チビラボ	11日 チビラボ	21日 協働トーク 27日 チビラボ		
創発	市民活動等に関する 調査研究及び成果公表			新規	9	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究		13日 MTG 19日～28日 ヒアリング	11日 SIRIUS 12日 MTG	5日 SIRIUS	11日 SIRIUS	2日 MTG 2日 SIRIUS 19日 ヒアリング	4日 MTG	4日 SIRIUS 12日 MTG	15日 MTG	6日 SIRIUS	19日 フォーラム参加	その他、適宜MTG実施

■主な項目のサポートセンター利用状況推移(平成29年度)

資料 2

		貸室 件数	貸室 利用者数	利用率(各 部屋平均)	フリースペース 利用件数	フリースペース 利用者数	印刷機 利用件数	印刷機 利用枚数	情報揭示 受付件数	パソコン 利用件数	相談 件数	相談人数	レターケース 取扱件数	来訪者 件数	来訪者 人数	図書貸 出件数※	総利用 件数	利用者 総数
		a	a'		b	b'	c		d	e	f	f'	g	h	h'	i	A	B
平成11年度～ 24年度計		38,551	518,101	881	36,884	135,383	27,691	24,969,366	45,806	28,971	12,648	14,393	49,503	1,077	4,237	551	241,666	672,114
平成25年度計		3,181	45,032	81	4,808	12,002	1,675	1,431,310	4,003	943	832	925	3,388	53	102	238	19,121	58,061
平成26年度計		3,249	49,033	84	5,510	13,705	1,595	1,258,520	4,149	1,194	937	1,014	3,326	45	152	242	20,247	63,904
平成27年度計		3,235	48,472	82	5,958	15,094	1,458	1,222,901	3,894	1,463	650	707	2,277	19	21	198	19,152	64,294
平成28年度計		3,207	50,092	83	5,422	14,965	1,225	1,038,298	3,893	1,338	861	993	1,968	18	67	142	18,057	66,117
平成29 年度	4月	256	3,670	79	423	1,124	142	172,202	335	116	76	86	151	2	6	12	1,513	4,886
	5月	244	3,689	71	406	1,060	119	128,846	323	118	81	96	209	3	8	10	1,513	4,853
	6月	272	4,337	84	458	1,227	104	89,334	315	97	70	75	155	2	8	8	1,481	5,647
	7月	276	4,381	86	399	1,311	86	86,077	399	93	54	61	170	1	6	9	1,487	5,759
	8月	231	3,250	75	399	1,050	92	76,007	309	108	82	89	112	2	8	6	1,341	4,397
	9月	246	3,677	81	472	1,197	88	79,634	360	100	80	115	116	1	4	8	1,471	4,993
	10月	260	4,442	84	506	1,300	67	69,951	333	92	47	54	105	0	0	8	1,418	5,796
	11月	286	4,721	86	448	1,205	86	90,427	320	87	75	93	121	1	2	7	1,431	6,021
	12月	238	4,135	83	412	1,028	49	47,764	303	68	63	72	155	0	0	11	1,299	5,235
	1月	212	3,351	70	380	933	67	72,449	308	65	45	48	169	0	0	6	1,252	4,332
	2月	250	4,347	88	440	1,766	53	59,146	255	42	52	59	177	0	0	1	1,270	6,172
	3月	263	4,254	83	537	1,482	87	80,998	354	78	65	82	266	1	4	5	1,656	5,822
平成29年度計		3,034	48,254	81	5,280	14,683	1,040	1,052,835	3,914	1,064	790	930	1,906	13	46	91	17,132	63,913
前年度比		95%	96%	97%	97%	98%	85%	101%	101%	80%	92%	94%	97%	72%	69%	64%	95%	97%
前年度差		-173	-1,838	-2	-142	-282	-185	14,537	21	-274	-71	-63	-62	-5	-21	-51	-925	-2,204
平成25年度～ 29年度計		15,906	240,883	410	26,978	70,449	6,993	6,003,864	19,853	6,002	4,070	4,569	12,865	148	388	911	93,709	316,289
平成11年度～ 29年度計		54,457	758,984	1,291	63,862	205,832	34,684	30,973,230	65,659	34,973	16,718	18,962	62,368	1,225	4,625	1,462	335,375	988,403
		a	a'		b	b'	c		d	e	f	f'	g	h	h'	i	A	B

$$A=a+b+c+d+e+f+g+h+i$$

$$B=a'+b'+f'+h'$$

■情報関連業務利用状況推移(平成25年度～29年度)

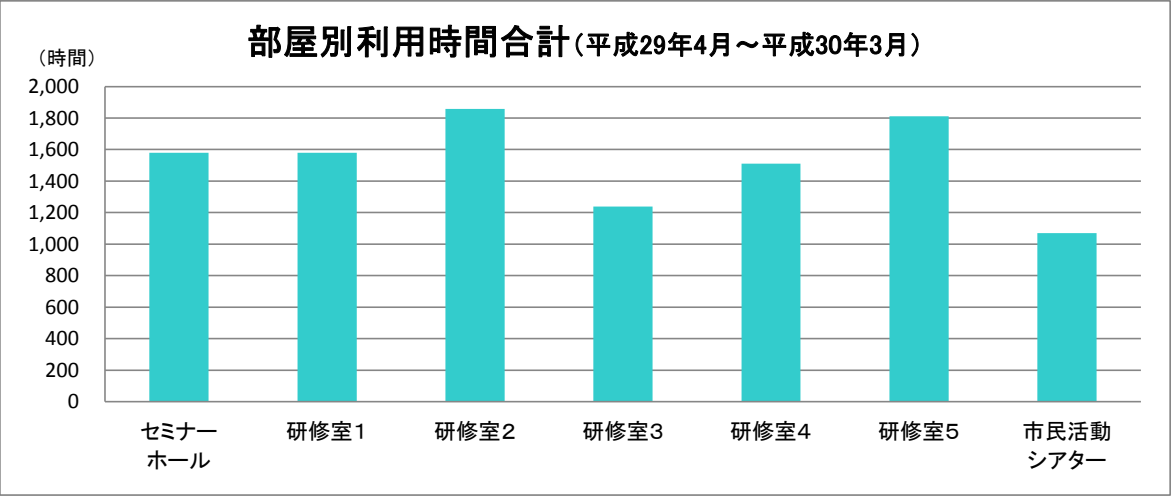
資料 3

		印刷機		コピー機	パソコン		情報揭示						図書資料			
		利用件数	枚数	利用枚数	作業用	使用時間	チラシ	団体チラシ	骨プロ	チラシ計	ポスター	ニューズレター	受付合計	登録者数	貸出件数	貸出冊数
		件	枚	枚	件	時間	件		件	件	件	件	件	人	件	冊
平成25年度		1,675	1,256,828	17,841	562	—	1,462	—	895	2,357	270	1,376	3,108	54	239	365
平成26年度		1,595	1,258,520	16,431	858	—	1,675	—	839	2,514	295	1,340	4,149	77	239	350
平成27年度		1,458	1,222,901	14,673	1,463	—	1,540		796	2,336	271	1,287	3,894	54	210	307
平成28年度		1,225	1,038,298	14,720	1,338	1,287	1,431	121	817	2,369	249	1,275	3,893	18	142	221
平成29年度	4月	142	172,202	916	116	110	117	14	81	212	20	103	335	3	12	20
	5月	119	128,846	819	118	105	111	8	68	187	23	113	323	1	10	18
	6月	104	89,334	748	97	87	114	9	71	194	29	92	315	1	8	15
	7月	86	86,077	579	93	101	169	7	59	235	23	141	399	0	9	12
	8月	92	76,007	615	108	133	116	5	71	192	26	91	309	3	6	10
	9月	88	79,634	906	100	109	133	1	88	222	31	107	360	1	8	13
	10月	67	69,951	516	92	96	132	4	63	199	33	101	333	4	8	14
	11月	86	90,427	853	87	83	123	22	64	209	22	89	320	6	7	13
	12月	49	47,764	470	68	85	117	5	44	166	14	123	303	2	11	18
	1月	67	72,449	534	65	72	119	10	70	199	11	98	308	1	6	10
	2月	53	59,146	1,046	42	43	105	6	55	166	15	74	255	0	1	2
	3月	87	80,998	1,079	78	72	121	16	54	191	22	141	354	2	5	7
平成29年度計		1,040	1,052,835	9,081	1,064	1,093	1,477	107	788	2,372	269	1,273	3,914	24	91	152
前年度比		84.9%	101.4%	61.7%	79.5%	84.9%	103.2%	88.4%	96.5%	100.1%	108.0%	99.8%	100.5%	133.3%	64.1%	68.8%

資料 4

[illegible]

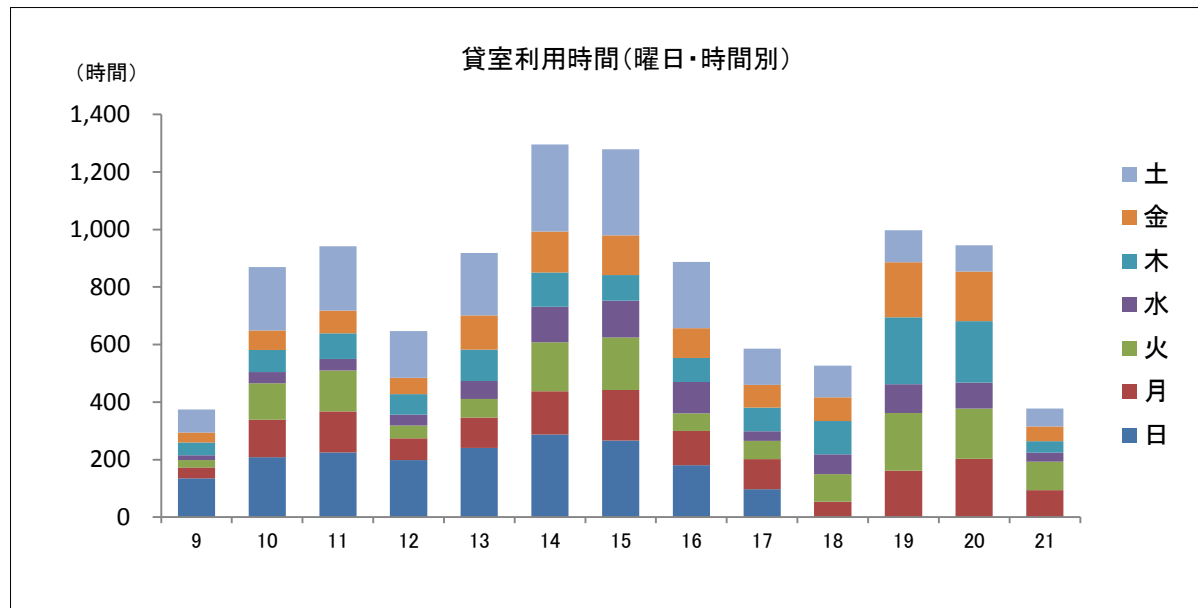
		セミナー ホール		研修室1		研修室2		研修室3		研修室4		研修室5		市民活動 シアター		合計時間
4月	時間	111		135		166		106		130		152		37		837
開館日	28 日数	20 71%		26 93%		28 100%		25 89%		27 96%		24 86%		5 18%		155 79%
5月	時間	98		133		163		100		119		146		49		808
開館日	29 日数	20 69%		25 86%		25 86%		20 69%		26 90%		24 83%		5 17%		145 71%
6月	時間	143		123		161		98		160		174		86		945
開館日	28 日数	25 89%		26 93%		27 96%		25 89%		28 100%		25 89%		9 32%		165 84%
7月	時間	174		171		180		120		147		186		94		1072
開館日	29 日数	25 86%		27 93%		28 97%		26 90%		26 90%		29 100%		14 48%		175 86%
8月	時間	92		135		134		81		125		133		91		791
開館日	29 日数	19 66%		28 97%		26 90%		22 76%		25 86%		23 79%		10 34%		153 75%
9月	時間	120		123		147		121		124		155		52		842
開館日	28 日数	22 79%		24 86%		28 100%		24 86%		27 96%		26 93%		7 25%		158 81%
10月	時間	153		130		149		120		125		169		112		958
開館日	29 日数	24 83%		26 90%		29 100%		24 83%		28 97%		26 90%		13 45%		170 84%
11月	時間	178		132		164		145		129		160		127		1035
開館日	28 日数	26 93%		26 93%		27 96%		26 93%		25 89%		24 86%		15 54%		169 86%
12月	時間	116		119		131		96		106		127		94		789
開館日	26 日数	22 85%		24 92%		26 100%		22 85%		24 92%		20 77%		13 50%		151 83%
1月	時間	82		125		133		85		102		119		56		702
開館日	26 日数	17 65%		22 85%		24 92%		17 65%		22 85%		18 69%		7 27%		127 70%
2月	時間	202		122		176		70		127		157		176		1030
開館日	26 日数	25 96%		22 85%		25 96%		21 81%		26 100%		24 92%		17 65%		160 88%
3月	時間	111		131		154		97		116		133		96		838
開館日	29 日数	22 76%		25 86%		29 100%		26 90%		29 100%		28 97%		10 34%		169 83%
合計	時間	1580		1579		1858		1239		1510		1811		1070		10647
開館日	335 日数	267 80%		301 90%		322 96%		278 83%		313 93%		291 87%		125 37%		1897 81%
前年度合計	日数	269 80%		314 94%		321 96%		283 84%		315 94%		307 92%		142 42%		1951 83%



■貸室利用時間(曜日・時間別集計)

資料 6

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
日	135	209	225	199	241	287	266	181	97	0	0	0	0	1,840
月	38	130	143	75	106	151	176	119	105	54	162	203	94	1,556
火	26	127	142	45	64	170	183	61	63	96	200	175	99	1,451
水	16	38	40	38	62	124	128	109	34	69	100	90	31	879
木	45	77	89	71	109	119	89	83	82	115	233	213	40	1,365
金	34	68	79	56	119	142	138	104	79	83	191	173	51	1,317
土	80	220	224	163	218	303	299	230	126	110	112	91	63	2,239
計	374	869	942	647	919	1,296	1,279	887	586	527	998	945	378	10,647

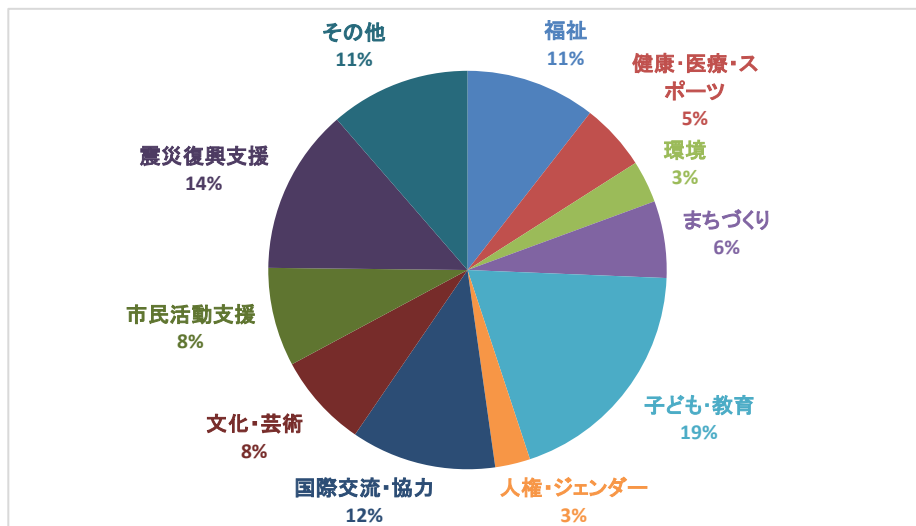


■利用団体分野別集計

資料 7

※提出された利用票の活動分野に関する回答(複数可)を集計

分野	来館利用		主な活動内容
	利用票	構成比	
福祉	892	11%	障害者、高齢者、福祉一般
健康・医療・スポーツ	459	5%	医療・保健・健康、スポーツの振興
環境	290	3%	食・農業、環境・エコロジー
まちづくり	528	6%	地域・まちづくり、交通などの安全対策、災害などの救援活動
子ども・教育	1,631	19%	子ども、青少年、教育・学習支援、社会教育
人権・ジェンダー	241	3%	ジェンダー、男女共同参画、人権、平和
国際交流・協力	996	12%	在日外国人、留学生支援、国際貢献・協力、国際交流
文化・芸術	644	8%	文化・芸術の振興
市民活動支援	678	8%	ミニコミ・出版、市民事業、市民活動団体の支援、助成活動
震災復興支援	1138	13%	
その他	962	11%	政策提言、労働問題、コミュニティ・ビジネス、消費者保護、情報化社会等
合計	8,459	100%	

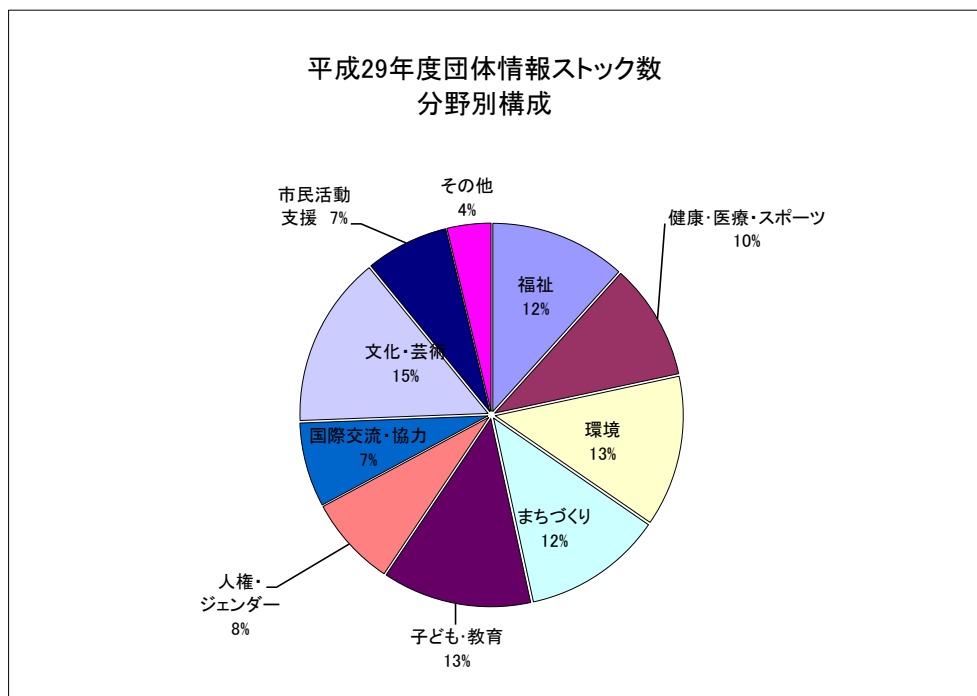


■ 団体情報ストック数 分野別集計(平成29年度累計蓄積数)

資料 8

分野	情報利用 *1				
	団体数	構成比	県内	県外	
福祉	548	12%	466	82	障害者、高齢者、福祉一般
健康・医療・スポーツ	467	10%	391	76	医療・保健・健康、スポーツの振興
環境	608	13%	421	187	食・農業、環境・エコロジー
まちづくり	563	12%	494	69	地域・まちづくり、交通などの安全対策、災害などの救援活動
子ども・教育	600	13%	479	121	子ども、青少年、教育・学習支援、社会教育
人権・ジェンダー	364	8%	258	106	ジェンダー、男女共同参画、人権、平和
国際交流・協力	340	7%	211	129	在日外国人、留学生支援、国際貢献・協力、国際交流
文化・芸術	690	15%	602	88	文化・芸術の振興
市民活動支援	334	7%	102	232	市民事業、市民活動団体の支援、助成活動
その他	177	4%	141	36	政策提言、労働問題、コミュニティ・ビジネス、消費者保護、情報化社会等
計	4,691	100%	3,565	1,126	
H28年度累計蓄積数	4,679		3,554	1,125	
前年度比	100%		100%	100%	* 県内の団体情報も、チラシやニュースレターを受け付けた団体、サポートセンターの利用団体のみの情報とした。

*1 情報利用: 団体情報の蓄積数

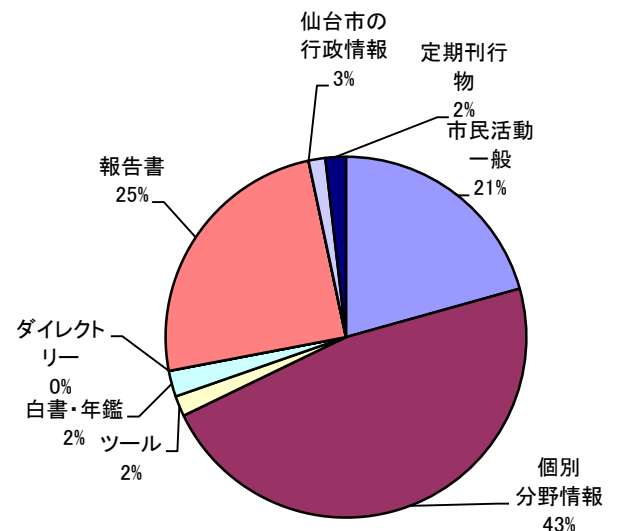


■図書資料分類別冊数

資料 9

分類	分類名	種類	冊数
A-1	市民活動・NPO全般	50	50
A-2	NPO法・条例	2	2
A-3	会計・マネジメント	22	22
A-4	財団・協同組合	2	2
A-5	ボランティア	5	5
A-6	企業とNPO・フィランソロピー	11	11
A-7	行政とNPO・政策提言	30	30
A-8	NPO法・条例の経済分析	2	2
B	ジェンダー・人権	30	30
C	福祉・医療	36	36
D	高齢者	5	5
E-1	まちづくり全般	17	17
E-2	地域事例	54	54
E-3	災害・防災	80	80
F	子ども・社会教育	12	12
G	文化・芸術	25	25
H	環境	13	13
J	インターネット・ネットワーキング	0	0
K	国際協力・NGO	11	11
L	ハウツー	11	11
M	年鑑	0	0
N	辞書	0	0
O	地図	0	0
P	白書	14	14
Q	ダイレクトリー	0	0
R	報告書	148	148
T	仙台市の行政情報	0	0
V	ビデオソフト	9	9
X	定期刊行物・雑誌バックナンバー	11	138
合 計		600	727

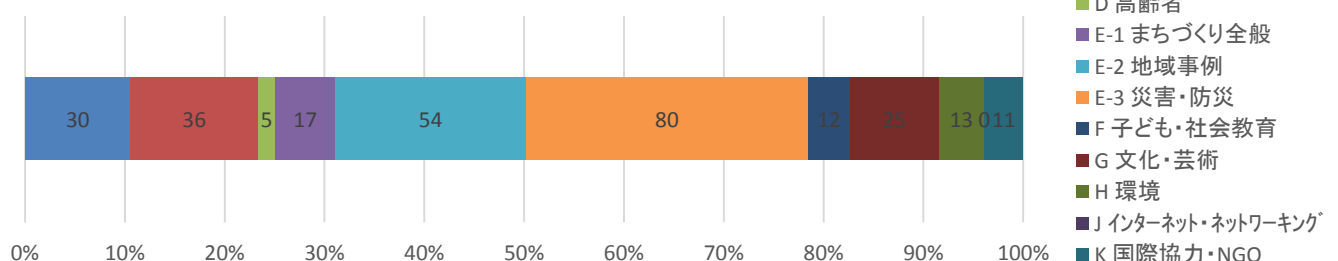
大分類	種類	内訳
市民活動一般	124	A-1,2,3,4,5,6,7,8
個別分野情報	283	B,C,D,E-1,2,3,,F,G,H,K,
ツール	11	J,L,N,O
白書・年鑑	14	M,P
ダイレクトリー	0	Q
報告書	148	R
仙台市の行政情報	0	T
ビデオソフト	9	V
定期刊行物	11	X
合計	600	



大分類別冊数



個別分野情報



■サポートセンターホームページ アクセス件数集計表

資料 10

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ユニークユーザ ※1	件	2,375	2,689	2,609	2,912	2,385	2,663	2,748	2,761	2,230	2,579	2,954	2,725	31,630
ページビュー ※2	件	10,181	11,541	12,380	12,514	10,326	12,342	12,115	12,153	9,962	11,175	14,201	11,059	139,949

※1…パソコン1台を1件としたアクセス数。一日のうちであれば、同じパソコンから何度アクセスがあっても1件とする。

※2…HP内にあるサイトの総閲覧数

■ページランキング（ページビューの多いページの上位5位まで。右側の数字はページビュー）

	4月		5月		6月	
1位	トップページ	2,625	トップページ	2,858	トップページ	2,851
2位	アクセス(地図)	956	アクセス(地図)	1,121	貸室(地上階)	1,148
3位	貸室(地上階)	804	貸室(地上階)	994	アクセス(地図)	969
4位	貸室(総合)	725	貸室(総合)	785	貸室(総合)	948
5位	イベント・講座	504	イベント・講座	657	イベント・講座	730

	7月		8月		9月	
1位	トップページ	3,017	トップページ	2,458	トップページ	2,891
2位	貸室(地上階)	998	貸室(地上階)	1,022	アクセス(地図)	1,057
3位	アクセス(地図)	926	アクセス(地図)	901	貸室(地上階)	861
4位	貸室(総合)	860	貸室(総合)	892	貸室(総合)	841
5位	イベント・講座	753	イベント・講座	584	イベント・講座	734

	10月		11月		12月	
1位	トップページ	2,925	トップページ	3,110	トップページ	2,578
2位	アクセス(地図)	1,006	アクセス(地図)	1,178	貸室(地上階)	858
3位	貸室(地上階)	950	貸室(地上階)	928	アクセス(地図)	807
4位	貸室(総合)	832	イベント・講座	781	貸室(総合)	753
5位	イベント・講座	698	貸室(総合)	771	イベント・講座	571

	1月		2月		3月	
1位	トップページ	2,812	トップページ	2,850	トップページ	2,573
2位	貸室(地上階)	932	マチノワWEEK vol.2	1,129	アクセス(地図)	1,070
3位	アクセス(地図)	924	アクセス(地図)	906	貸室(地上階)	939
4位	イベント・講座	864	貸室(地上階)	883	貸室(総合)	856
5位	貸室(総合)	852	貸室(総合)	852	イベント・講座	623

NO	号	表紙 今月のワクワクビト	2～3ページ 特集:協働のまちづくり	2ページ お役立ち本	2ページ コトハジメ	3ページ 団体紹介	3ページ ここチェック	4ページ インフォメーション	配布状況				
									全国のサポ ートセンター	行政窓口	その他	サポート センター館内	計
212	4月	伊達の舞 佐藤瑠美さん	障がい者とデザイナーが力を合わせ、 “仙台らしさ”を商品化 SHIRO Lab.	63人の復興起業家たち いま、始まっ ている東北の未来	広瀬川1万人プロジェクト 第23回広瀬 川流域一斉清掃	SENDAI転妻カフェ実行委員会 「「転妻」の暮らしを明るく照らす」	障がいのある子ども達を、地域で見 守って欲しい～ハートパッチ～	・サポセンとは ・仙台市の地域活動・市民活動に対す る支援制度をホームページからご覧に なれます(仙台市から)	274	1,455	606	498	2,833
213	5月	仙台演劇カレンダー 村岡佳奈さん	三位一体で取り組む青葉通のエリアマ ネジメント-青葉通まちづくり協議会-	ぼくらがクラウドファンディングを使う理 由	からだと心に優しいお弁当を届けま す。運転ボランティア募集中！	一般社団法人ハッピーパンツ・ジャパン 「ドリームパンツでみんながハッ ピー！」	社の都を味わい尽くす。西公園を遊ぼ うプロジェクト	・マチノワラボ「社会的連帯経済ってな んだ!?—フランスから学ぶ—」 ・はじめての市民活動を応援します「は じめてのミニイベント」	274	1,455	616	442	2,788
214	6月	ストリートダンサー/ダンサーネーム POG 佐々木優一さん	町内の諸団体と大学が取り組む健康で 元気なまちづくり	2枚目の名刺 未来を変える働き方	仙台セタ花火祭を支えるボランティア	コルジャ仙台FC 「目隠したまま全力疾走するサッ カー」	あなたの街にもやってくる！太極拳出 張講習会	・事務用ブースの使用者募集！ ・マチノワ緑日 ・マチノワブース出展団体募集！	275	1,448	591	388	2,702
215	7月	鍵盤楽器奏者 齋藤 めぐむさん	地域を面白くするヨソモノにまちを開く 週末一軒家プロジェクト	企業人とシニアのための市民活動入門	病氣の子どもと家族を支えるボランティ ア	オレンジカフェ「鶴ヶ谷」 「集まる人が主役です。本音を話せる オレンジカフェ」	畑のある生活を楽しもう。三本塚市民 農園利用者募集。	・ロッカー・レターケース 利用者募集 ・マチノワラボVol.2 都市をたたむ!?— これからの都市政策とは— ・マチノワ緑日 2017年7月29日(土) 9:00～21:00開催	275	1,448	614	631	2,968
216	8月	破牙神ライザー 龍	障がいにに対する誤解や偏見をなくす 音楽で交流する「きっかけ」の場づくり	都市をたたむ	盲導犬の育成を支えるボランティア	日本勤労者山岳連盟宮城県連盟朋友 会 「山へのアプローチはひとつじゃない」	手仕事小物と焼き菓子のお店 エフ ンノイチ	・ロッカー・レターケースの利用者二次 募集！ ・「地域のために何かしたい」若者を、 市民センターとともに応援しています！ (まいぶろレポート)	275	1,448	614	407	2,744
217	9月	Game Party仙台 大波瞳さん	地域を知り人と出会ってファンを増やす 新たなクロスロードでまちづくりの担い 手育成	市民のネットワーキング 市民の仕事 術Ⅰ	10月1日実施 赤い羽根共同募金街頭 募金ボランティア募集	一般社団法人ぶれいん・に～くす 「障がいを持つ人が生きやすい社会を 求め 種を蒔く」	ジャズがあふれる駅！長町ビッグバン ドフェスタ2017	・市民ライター講座2017～取材・執筆体 験で磨く！地域の情報発信力～ ・仙台ちよつとまち歩き 市民活動の現 場を巡る～聞く・見る・気づくのまち歩き 市民活動おじゃまします！～	275	1,448	618	375	2,716
218	10月	SEN./企画・デザイン 高野明子さん	すべては正しい情報を知ることから始 まる「仙台HIVネット」	市民のマネジメント 市民の仕事術Ⅱ	障害について学ぼう！スポーツを体験 しよう！障害者スポーツボランティア ネットワーク研修会	NPO法人ドットジェイビー 「若者と政治のかけ橋」	アトピー性皮膚炎などの患者が集い悩 みや不安を語り合える場	・マチノワラボVol.3「発信！LOCAL GOOD SENDAIキックオフミーティング ーオープンデーターとまちづくりー」 ・はじめての市民活動を応援します「は じめての助成金申請」	275	1,448	634	417	2,774
219	11月	Hair Designer 白鳥ゆいさん	歴史と自然の再発見 運河を活用した 復興まちづくり	熱血こうごろう荒町風雲録	自動販売機が募金箱になる!? 『ハートフルベンダー』	一般社団法人地域福祉アロマケアラ ー協会 「できる人が、できるときに、誰かを笑 顔にする方法」	「命の大切さ」を共に考えてみません か？PUSH PROJECT「胸骨圧迫・AED の使用法を学ぶ！」	・組織力・事業立案力を身につけ実践 する「社会を変えるアクションプラン・ス クール」全4回連続講座 ・市民の情報発信が地域の価値をつく る～市民ライター講座2017～(ライター 講座レポート)	275	1,448	634	638	2,995
220	12月	青空応援団 平了さん	市民と行政で提案する 公園の新たな 使い方、楽しみ方	世界を巻き込む。	子どもの成長と自立の支援『青少年育 成アドバイザー養成講習会』	NPO法人ICAS国際都市仙台を支える 市民の会 「外国人が日本で充実した生活を送れ るように」	「杜の都」仙台の豊かな緑を楽しもう！ 「せんだい百杜通信」	・年末年始休館期間の貸室申込みに ついて ・サポートセンター工事のお知らせ	275	1,448	634	334	2,691
221	1月	ぼたもち堂 坂部認さん	地元スポーツを多様に取り込み、支えて いくためのプロジェクト	成功する海外ボランティア21のケース	「Piccoliせんだい」2017ボランティア募 集	明るい社会づくり運動仙台地区推進協 議会 「明るい家庭をつくり、明るい社会を目 指して」	スポーツを「これから始めたい！」「もっ と楽しみたい！」という方にオススメ～ 仙台スポーツ情報ナビ～	・マチノワWEEK vol.2 もっとつながる、 もっとひろがる、まちづくりの輪 ・はじめての市民活動を応援します「は じめてのミニイベント」	275	1,448	634	304	2,661
222	2月	YouTuber Davide Bittiさん	若者の活躍に光を当てる 初開催！ 「仙台若者アワード」	ポスト・ボランティア論	SOUP STAGE ミクストジャーニー	NPO法人J-PAL 「ラインダンス、一緒に踊れば仲間が増 えます」	一人で過ごすもよし、仲間と過ごすもよ し。中高生の居場所～のびすく泉中央 4プラ～	・マチノワWEEK vol.2 もっとつながる、 もっとひろがる、まちづくりの輪 ・マチノワブース	275	1,448	634	455	2,812
223	3月	震災遺構 仙台市立荒浜小学校スタッ フ 高山智行さん	大学と地域が手を取りあい 多世代 が交流する桜ヶ丘へ	アートプロジェクトのつくりかた	県内の支援活動を応援！ 「みやぎチャレンジプロジェクト」	Team Bousaisi(チーム防災士) 「若い人から若い人へ 学生が伝える 震災の教訓」	まちづくりのヒント発見～地域情報紙 『おらほ！のまちづくり』～	・19期事務用ブースの使用団体追加募 集！ ・サポセンリニューアルしました・アン ケートにご協力をお願いします	275	1,448	634	289	2,646
計									3,298	17,390	7,463	5,178	33,330

2017年4月1日 ～ 2018年3月31日

		窓口	相談	その他	事業	計
属性	市民活動(非営利団体)	363	158	24	54	599
	町内会(地縁組組織)	1	4		1	6
	企業(営利組織)	30	30	2	8	70
	大学(教育機関)	8	9		1	18
	行政・外郭	6	8	1	14	29
	その他	44	90	12	51	197
件数計		452	299	39	129	919
		窓口	相談	その他	事業	計
対応内容	自立	269	184	8	79	540
	連携	3	21	5	11	40
	創発	1	2			3
	情報	48	61	9	30	148
	その他	131	31	17	9	188
件数計		452	299	39	129	919
人数計		541	344	45	133	1,063

相談集計結果【主訴－相談主体】

集計期間：2017年4月1日 ～ 2018年3月31日

	主体	市民活動団体(非営利団体)				町内会 (地縁組織)		企業(営利組織)			大学(教育機関)			行政			その他		計	伴走	
		任意 団体	NPO 法人	一般 社団	その他 法人	町内会	その他	地元 企業	市外 企業	個人 事業主	大学 短大	小学校 ～高校	その他	仙台市	仙台市 以外	外郭	市民	その他		新規 候補	継続
自立	課題解決に取り組もうとする段階の相談	47	5		1			2	5		3			4			42		109		
		53						7			3			4			42				
	課題発見・企画立案・事業遂行に関する 相談	11	2					2				1					6		22		
		13						2			1			6							
	組織運営基盤(事務局運営・税務・労務・ 会計・資金・人材・労務等)に関する相談	19	24	3		1	1	1	1	2							1		53	1	4
46				2		4						1									
連携	市民活動団体間のネットワークの相談	1	2	1															4		
		4																			
	多様な主体による協働の相談	3	1	2	1			4	1					1			1		14		
		7						5						1							
	協働のノウハウ・事例に関する相談		1	1	1														3		
3																					
創発	市民活動・協働に関する制度等の相談					1					1								2		
						1					1										
	政策提言																				
情報	情報収集・情報提供	14	2	4	4		1	6	4		3	1		2		1	18	1	61		
		24				1		10			4			3			19				
その他	当事者・受益者からの相談	1	1														11		13		
		2												11							
	研究・視察対応							2											2		
								2													
	上記のいずれにも当てはまらないもの	4		2													9	1	16		
6												10									
計		100	38	13	7	2	2	17	11	2	7	2		7		1	88	2	299	1	4
		158				4		30			9			8			90				

相談集計結果【内容－相談者】(複数選択あり)

集計期間：2017年4月1日 ～ 2018年3月31日

	相談者	市民活動団体(非営利団体)				町内会 (地縁組織)		企業(営利組織)			大学(教育機関)			行政			その他		計	伴走	
	相談内容	任意 団体	NPO 法人	一般 社団	その他 法人	町内会	その他	地元 企業	市外 企業	個人 事業主	大学 短大	小学校 ～高校	その他	仙台市	仙台市 以外	外郭	市民	その他		新規 候補	継続
自立	課題解決に取り組もうとする段階の相談	50	5		1	1	1	4	8		3	1		4			51		129		
		56				2		12			4			4			51				
	課題発見・企画立案・事業遂行に関する 相談	21	6	1				6	3	1	1	1					14		54		
		28						10			2						14				
	組織運営基盤(事務局運営・税務・労務・ 会計・資金・人材・労務等)に関する相談	27	26	4	1	2	1	2	1	3							4		71	1	4
58				3		6									4						
連携	市民活動団体間のネットワークの相談	8	4	2													2		16		
		14												2							
	多様な主体による協働の相談	8	3	3	1	1		5	1		2	1	1	2			1		29		
		15				1		6			4			2			1				
	協働のノウハウ・事例に関する相談	2	4	1	1			2			1						1		12		
		8						2			1						1				
創発	市民活動・協働に関する制度等の相談	3	2			1					2								8		
		5				1					2										
	政策提言	1																	1		
1																					
情報	情報収集・情報提供	26	8	8	5		2	11	7	2	3	2	1	2		1	32	1	111		
		47				2		20			6			3			33				
その他	当事者・受益者からの相談	3	1					1									14		19		
		4						1									14				
	研究・視察対応							2											2		
								2													
	上記のいずれにも当てはまらないもの	5	1	2							1						10	1	20		
		8						1									11				
計		154	60	21	9	5	4	33	20	7	12	5	2	8		1	129	2	472	1	4
		244				9		60			19			9			131				

総件数：15 件 総人数：64 名

	対応日	属性	団体名	人数
1	4月3日	行政	仙台市市民協働推進課	3
2	4月5日	行政	仙台市市民局	3
3	5月2日	市民活動団体	NPO法人Azuma-re（あずまーれ）	1
4	5月12日	行政	大阪府労政課労働対策グループ	1
5	5月23日	その他（学校行事）	山形県寒河江市立綾南中学校2年生5名・教員1名	6
6	6月15日	市民活動団体	とめ市民活動プラザ	2
7	6月19日	行政	柴田町まちづくり推進センター	6
8	7月19日	その他（議員）	さいたま市議団	6
9	8月2日	行政	岩沼市復興創生課	6
10	8月12日	その他（学生）	早稲田大学建築学科	2
11	9月6日	その他	学都仙台コンソーシアム	4
12	11月17日	市民活動団体	NPO法人市民セクターよこはま	2
13	3月3日	その他（学生）	北海学園大学	4
				46

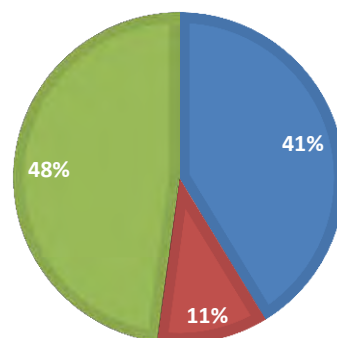
来館者内訳（人）

行政 19
市民活動団体 5
その他 22

合計 46

視察・見学団体の属性

■行政 ■市民活動団体 ■その他



センター長 1名 副センター長 2名	情報部門	1.情報収集提供	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務	・市民活動・協働等に関する情報の収集及び提供、団体情報ファイルの管理 ・市民活動・協働等に関する図書資料の収集、管理及び貸出 ・市民活動団体等のチラシ、ポスター等の受付及び掲示
			施設機関紙やWEB媒体での発信による市民活動や協働の情報提供	・WEBによる情報提供 ・施設機関紙による情報提供
		2.相談業務	多様な相談に対する対応の実施	相談対応／ケース管理／協働相談／情報整備及び提供／アウトリーチ相談
		3.市民活動者の育成	市民活動を「知る」「体験」「学ぶ」機会づくり	・ハジマルフケラムプロジェクト ・ちよっとまちあるき ・マチノワストーリー
			市民メディアの担い手育成	・市民ライター講座 ・市民ライター課外活動
		4.市民活動力強化	市民活動者の人材育成・活動力強化	・はじめての〇〇講座
		5.市民活動団体の組織運営基盤	市民活動団体の組織運営基盤強化	講座＋件走型専門相談による組織運営基盤強化支援 →アクションプランスクール2017
		8.多様な主体による協働を推進するノウハウ共有	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有	・課題発見及び解決主体形成に資する手法の開発と試行 →マチノワラボ
		9.市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究	・課題解決プラットフォームの試行と検証 ・課題発見及び解決主体形成に資する手法の開発と試行 ・他都市の課題解決プラットフォームに関する情報収集
	施設管理部門	総務	施設管理業務	(1)施設管理業務 ③施設利用者用印刷機及びコピー機の管理保守、操作指導及び費用徴収業務 ⑨裁断機、紙折機等の管理保守及び操作指導 ⑪建物の本市が原形変更した部分の修繕及び小修繕 ⑫設備の軽微な維持修繕、消耗品の交換等 ⑬貸付物品の修繕、保守及び貸出等管理 ⑭建物所有者が実施する施設及び設備維持管理業務に係る連絡調整 (6)その他事業 ①事業報告等の提出 ②従事者に対し、運営管理に当たり必要な研修を計画し実施すること。 ⑤防火管理者の業務 ⑥災害ボランティアセンター設置時における施設利用及び施設管理等に関する業務 ⑦緊急時連絡体制の整備、防犯・防災・危機対応マニュアルの作成及び職員指導 ⑨引継ぎ業務 ⑩その他管理運営業務に付随する一切の業務 【その他】 ・本部管理業務との調整
		窓口	施設管理業務	(1)施設管理業務 ①施設及び設備の使用許可もしくは不許可又は使用許可の取消 ②施設及び設備の使用料徴収業務 ④セミナーホール、研修室、市民活動シアター等の申込受付、貸出等管理 ⑥事務用ブースの管理 ⑦ロッカーの申込受付、抽選、貸出等管理 ⑧レターケースの申込受付、貸出等管理 ⑫その他施設管理業務全般 (6)その他業務 ③利用者等へのアンケートの実施及び事業評価 ④利用者等の要望や苦情への対応 ⑧施設の管理運営全般のマニュアル作成
		6.市民活動団体のネットワーク化支援	市民活動団体の交流機会の創出	・市民活動者等参画型イベント→マチノワークショップ ・ネットワーク交流会の開催→おりまぜトーク
		7.多様な主体による協働の推進	多様な主体による協働の推進	・「マチノワ企画」の実施 ・地域機関との連携

個別事業報告書

事業名称	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務【継続】	
業務仕様	情報収集提供業務 ① 市民活動，協働等に関する情報の収集及び提供 ② 市民活動，協働等に関する図書資料の収集，管理及び貸出 ③ 市民活動団体等のチラシ，ポスター等の受付及び掲示 ④ その他の情報収集提供業務全般	
事業目的	多様な主体の協働によるまちづくりに必要な情報を、より多くの市民に届け、市民活動や協働によるまちづくりへの興味関心を高める。	
事業効果	市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増える。	
成果	成果目標	・市民が団体情報や活動に有益な情報に触れる機会を増やす。 ・まちづくりに関心を持ち、取り組む人材を増やす。
	実施目標	・情報受付：情報掲示受付件数 3,900 件、骨プロ取扱い件数 900 件 ・図書貸出件数：170 件
	・情報利用者数：9,248 名（参考値） ・情報受付総件数：3,914 件、骨プロ取扱い件数 788 件 ・図書貸出件数：91 件 ・収集した情報を保存管理するだけでなく、利用者の関心を誘発する提供の仕方を工夫。明確な目的を持たない来館者にもサポートセンターに多様な情報があることを伝えることができた。	
課題	・市民が館内の団体情報や活動に有益な情報をより手軽に触れることができるよう、引き続き提供方法の工夫が必要。 ・インターネットによる情報収集発信が主流になっていることも踏まえ、情報収集発信サポートのあり方を見直す必要がある。 ・機能強化工事でレイアウト変更をした点を生かす取り組みを考える必要がある。	
実施概要	1. 趣旨 市民活動や協働の情報を収集、整理、提供 (1) 概要 ① 市民活動、協働等に関する情報の収集及び提供、団体情報ファイルの管理 ・内容：市民活動団体が発行する紙媒体を、当センター内に配架した。 ・媒体：団体紹介シート、チラシ、ニューズレター、報告書等 ・対象：市民活動やまちづくり関心のある市民、活動団体など ・場所：館内の対象に届きやすい場所に設置 機能強化工事前 1 階：チラシ／ニューズレター／助成金情報 3 階：団体パンフレット／企業 CSR 情報 5 階：ポスター 機能強化工事後 1 階：チラシ／ニューズレター／助成金情報／団体パンフレット／企業 CSR 情報	

	3 階：ポスター／団体情報ファイル／ニューズレターバックナンバー ②市民活動、協働等に関する図書資料の購入、管理及び貸出 ・ 内容：図書資料の購入、貸出、管理を実施した。利用者が求める図書を探しやすいよう、図書分類の改善をした。市民活動団体に有益な図書資料情報を機関紙、WEB を通じて発信、館内でも掲示をした。機能強化工事に伴い貸出サービスを停止したこともあり、今年度は件数が伸びなかった。 ・ 媒体：書籍、活動報告書などの図書資料 ・ 対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民活動団体、企業、行政など ・ 場所：1 階情報サロン ③市民活動団体等のチラシ、ポスター等の受付け及び掲示 ・ 内容：市民活動団体が開催する事業の発信をサポートした。助成金や補助金情報、他施設の情報、人材募集に関する情報など、市民活動に有益な情報を収集し、当センター内への配架や WEB 媒体を通じて発信した。 ・ 媒体：市民活動団体のチラシ、ニューズレター、ポスター、パンフレット等の紙媒体、および WEB。 ・ 対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民活動団体、企業、行政など ・ 場所：チラシは 1 階情報サロン、ポスターは 5 階交流サロン（機能強化工事後は 3 階に移動）、市民活動シアター利用事業は、外壁看板に掲示した。WEB での発信はブログをベースにし、ツイッターにて拡散した。 ④骨プロ ・ 内容：仙台市市民活動サポートセンターが窓口となり、利用対象者が持ち込んだチラシを収集。毎週火曜日に、仙台市本庁舎と仙台市教育局の文書集配室を活用し、参画施設にチラシを郵送した。参加施設は、運用開始時に配布した骨プロチラシラックにチラシを配架した。 2018 年 3 月 31 日付でこれまでメディアテークが担ってきた電子化サービスを終了した。 ・ 媒体：市民活動団体の日付が明記されたチラシ。 ・ 対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民活動団体、企業、行政など ・ 場所：1 階情報サロンに配架。 ・ 骨プロ参加施設一覧（平成 29 年度 3 月末時点） - 仙台市生涯学習支援センター - せんだいメディアテーク - 日立システムズホール仙台 - エル・パーク仙台 - エル・ソーラ仙台 - 仙台市ボランティアセンター - のびすく仙台 - のびすく泉中央
--	--

	のびすく長町 戦災復興記念館 せんだい環境学習館 たまきさんサロン 仙台市市民活動サポートセンター ⑤その他の情報収集提供業務 ・対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民、活動団体、企業、行政など。 <協働コーナー（マチノワ・ライブラリー）> ・内容：全国各地の協働によるまちづくりに関する情報が収集できるコーナーを制作し、協働の手法やまちづくりに関する資料を展示した。 ・場所：1 階情報サロン 4 月～ フリーペーパー展示 8 月～ 秋田のまちづくり事例 9 月～ 青森県八戸市のまちづくり事例 12 月～ 仙台市内の町内会によるまちづくり事例 ※1 月後半より工事期間のため企画停止。工事終了後の 3 月より後述のマチノワギャラリーに発展。 <マチノワギャラリー> ・内容：館外からの視認性が高い風除室に情報を掲示できるコーナーを制作し、市民活動やまちづくりに関する資料を展示してサポートセンターおよび市民活動・協働によるまちづくりの周知をはかる。 ・場所：1 階風除室 3 月前半：3.11 メモリアル 3 月後半：てんかん啓発キャンペーン「パープルデー」
添付	なし

個別事業報告書

事業名称	施設機関紙やWEB媒体での発信による市民活動や協働の情報提供【継続】	
業務仕様	情報収集提供業務 ① 市民活動，協働等に関する情報の収集及び提供 ④ 機関紙の発行 ⑤ ホームページの管理及び更新 ⑥ その他の情報収集提供業務全般	
事業目的	多様な主体の協働によるまちづくりに必要な情報を、より多くの市民に届け、市民活動や協働によるまちづくりへの興味関心を高める。	
事業効果	市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増える。	
成果	成果目標	まちづくりに関心を持ち、取り組む人材を増やす。
	実施目標	WEB ・仙台市協働まちづくり推進プラン 2016 の目標数値：ホームページのアクセス数 33,000 件以上 機関紙 ・年間 3000 部×12 号を発行し、協働の事例を年間 12 件紹介する。
	1. ホームページの管理及び更新 ・ホームページ：ユニークユーザ 31,630、ページビューは 139,949、 ・ブログ：ユニークユーザ 28,302、ページビューは 517,242。 2. 機関紙の発行 ・年間 12 回、36,000 部発行。 ・配布部数は、平均 2,778 部。昨年度から比べると 44 部増加。 ・取材執筆に関わった大学生は、平成 29 年度 4 月号～3 月号まででのべ 2 名。 ・取材執筆に関わった市民ライターは、平成 29 年度 4 月号～3 月号まででのべ 22 名。 ・団体関係者への配布、イベントでの配布など、掲載団体による活用が目立った。 ・多くの人に目にしてもらえる機会が増えたことで、マスメディアとの情報交換が活発化。 ・ぱれっとに掲載したことで、他のメディアで取り上げられ、他機関のイベントのゲストとして声がかかるなど、市民活動に取り組む市民を広く知ってもらえるきっかけとなった。 ・市民活動の情報発信に関わる人が増えたこと、配布部数が増加したことから市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増えたと考える。 ・情報発信による効果を団体と共有することができ、情報発信の大切さを団体に伝えることができた。また、これらの成果から生涯学習支援センター主催の仙台市内の社会教育施設職員を対象とした広報講座の依頼を受けるなど、他機関への広報支援活動にも繋がった。	
課題	①WEB ・ブログ掲載情報の種類の充実 ・タイトルなど、読まれるためのノウハウ蓄積	

	・更新頻度を上げるための体制づくり ・読者に二次拡散され波及効果を生むための、拡散力あるホームページとブログの記事形成 ②ぱれっと ・配布先と部数の再整理と開拓の継続 ・市民ライターや学生記者との継続的な連携において、定期的な交流の創出が必要。懸念事項として、学生記者の活動が停滞していることがあげられ、次年度は市民ライターとの連携が主になると考えられる。 ③全体 ・SNS の普及に伴い拡散が容易にできることから、引き続き WEB や紙媒体、窓口など広報ツールの連動を考える必要がある。
実施概要	1. ホームページの管理及び更新【参照：資料 10】 ・ホームページの管理及び更新、ブログの更新 ・ツイッターによる拡散 2. 機関紙の発行 (1)発行 ①毎月 1 日 ②月／3000 部、年／36,000 部発行 (2)仕様 ①A3 サイズ、2 つ折り、4 ページ、フルカラー (3)構成【参照：資料 12】 P1 今月のワクワクビト P2-3 協働のまちづくり事例 P2-3 お役立ち本・コトハジメ・ここチェック P3 市民ライターによる団体紹介 P4 インフォメーション（サポセン・仙台市からのお知らせ） (4)工程 ①スケジュール ・1 号あたり、編集会議から納品まで約 1 ヶ月半 ②工程 ・内部編集会議→連携先との編集会議→取材執筆→デザイナーと校正作業→センター長、副センター長確認→印刷入稿→納品→発送及び配布
添付	■その他（機関紙現物、資料 12）

個別事業報告書

事業名称	多様な相談に対する対応の実施【継続】	
業務仕様	(3) 相談業務 幅広い分野の市民活動，団体の法人化，組織運営及び協働等に関する各種相談対応	
事業目的	幅広い分野で活動する市民活動団体・企業・地縁組織・行政など多様な相談者が常時相談できる環境を構築し、市民活動や協働を後押しする。	
事業効果	多様な市民が、市民活動、地域づくり、社会課題解決を目指した活動等について気兼ねなく相談でき、専門的なアドバイスを受けられるようになる。	
成果	成果目標	・市民活動関係者のみならず、多様な主体の相談者が常時相談できる環境を構築する。 ・5団体を伴走型相談事業へつなぐ
	実施目標	・活動相談の年間相談件数 520件（平成26年度比約110%）
	・年間相談件数 790件（28年度比91%）、内活動相談件数 299件（28年度比70%）の相談実績があった。 ・非営利団体 158件（28年度 259件、28年度比61%）、行政・外郭団体からの相談が8件（28年度16件、28年度比50%）企業30件（28年度34件、28年度比88%）、町内会（地縁組織）5件（28年度14件、28年度比35%）、その他146件（28年度159件、28年度比91%）であった。多様な主体の相談者が相談できる環境を構築できた。 ・伴走型相談事業（事業番号5）へつなぎ、伴走型相談予備軍としてカルテ化を実施。継続的に事業立ち上げのための整理や、会計に関する相談を行った。 ・平成28年度から継続して、公益財団法人仙台市産業振興事業団が運営する仙台市企業支援センター「アシスタ」と連携し、「起業・創業なんでも相談 DAY」に出張相談員として参画。年間を通して32件の相談に対応。9月20日にはワンポイント講座「社会起業と資金調達」を開催し5名の受講があった。	
課題	・活動相談は、平成28年度より減少し、目標の520件に届かなかった。 ・伴走型相談事業(事業番号5)につなぎ、カルテ化を実施した2団体について、専門家による伴走型専門相談の実施にまでは至らなかった。	
実施概要	○相談コーナーの運営 趣旨： ・常設の相談コーナーを設置することで、相談者が相談しやすい環境を整備した。また、専門スタッフを配置する事で高い専門性のもと相談対応の実施や、相談内容に応じた内部人材や外部機関との相談コーディネートを実施した。 ・改正条例で掲げられている「自立、連携、創発」の基本理念に照らし合わせて相談内容を記録し、各理念に該当する相談件数など数値データを積み上げた。 基本情報： 相談受付時間（休館日をのぞく）： 平日：午前10時～午後8時 / 日曜・祝日：午前10時～午後5時 場所：仙台市市民活動サポートセンター3F および1F 相談料：無料	

	対象：市民活動団体、NPO 法人、一般社団法人、地縁組織、企業、個人事業主、教育機関、行政・外郭団体、市民など 業務内容： ①相談対応 ・一次対応：相談内容の整理、想いの受け止め、適切なつなぎ先の選定、情報提供。 ・二次対応：当センター内の人材・他機関・専門家への取り次ぎ。 ・三次対応（伴走型相談）：事業番号 5「伴走型相談による個別支援」の実施 ②ケース管理 ・相談結果及び経過は相談データベースに登録し、後述のケースミーティングや団体カルテとして活用した。相談データベースや団体カルテは、伴走型相談による個別支援を実施する団体を選定する際にも利用した。 ③協働相談 ・協働事業提案制度の事前相談を 1 件実施し、提案内容の整理・助言を行った。 ・協働まちづくり推進助成制度の事前相談を 9 件実施し、内容への助言を行った。 ・その他、必要に応じて随時協働の相談に対応した。 ④情報整備及び提供 ・相談対応に必要な情報収集：助成金情報、関連する法改正、市民活動団体の状況等 ・収集した情報の整理及び提供：市民活動お役立ち情報の制作等 ・効果的な情報を提供するための環境整備：助成金情報等を随時ブログで発信した。 ⑤アウトリーチ相談 ・地域機関との連携事業（事業番号 7-2）での情報収集などを基に、地域機関（太白区中央市民センター、宮城野区中央市民センターなど）が地域の市民活動団体やその他の組織等を対象とした事業を実施するにあたり相談に応じた。 ・仙台市企業支援センター「アシスタ」と連携し、「起業・創業なんでも相談 DAY」に出張相談員として相談に対応した。
添付	☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☒ その他（資料 12-1、12-2、12-3）

個別事業報告書

事業名称	市民活動を「知る」「体験」「学ぶ」機会づくり【継続】				
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 ア：地域や社会の様々な課題の解決に、自主的、自発的に取組む市民を増やし、育成するための事業の企画及び実施				
事業目的	市民活動や地域づくり等への興味関心を高めると共に、活動者や支援者としての行動を起こすはじめの一步を後押しし、活動を行う市民を増やす。				
事業効果	市民活動や地域づくりに関心を持つ市民の後押しをし、市民活動の敷居を下げ、一人ひとりが地域生活、趣味、仕事など様々な形で市民活動や地域づくりに関わり始める。				
成果	成果目標	・ 事業参加をきっかけにした活動企画事例 10 件の創出（事業番号 3-1～3-2 を通じて） ・ 60 名の参加者			
	実施目標	・ 年 3 回実施（ハジフク 2 回、まち歩き 1 回）			
	・ 各企画の開催日時、参加者、新規参加者は以下の通り				
	企画名	開催日時	参加者	新規参加者	満足度
	ハジマルフクラムプロジェクト 十人十色のまちづくり かかわり方・はじめ方	2017 年 7 月 29 日(土) 14:00～16:00	33 名	6 名	4.4 点 (5 点満点中)
	仙台ちょっとまち歩き 市民活動の現場を巡る ～聞く、見る、気づく、 のまち歩き 市民活動 おじゃましまーす！～	2017 年 9 月 30 日(土) 10:00～12:00	6 名	1 名	4.4 点 (5 点満点中)
	マチノワストーリー -ワクワクからはじまるまちづくり-	2018 年 2 月 24 日(土) 14:00～17:00	4 名	1 名	情報なし
課題	・ アンケートからは、「同様の企画でもまた参加したい」「他の活動が知れて、自団体の活動モチベーションがあがった」「交流会があってよかった」といった声があった。 ・ 新規参加者には企画だけでなく、サポセンそのものを伝えることができた。 ・ 企画終了後、参加者のゲスト団体への活動参加に繋がった。(1 件) ・ 企画を通して、市民活動団体同士の交流が生まれた。(1 件) ・ 企画参加をきっかけに市民活動へのアクションがあった個人をゲストに招くことで、具体的事例を市民に見せることができた。				
	・ 市民活動への関わり方の多様さが伝わる工夫。 ・ 各企画のゴールが市民に伝わるよう明確に設定。				

実施概要

要

・ 市民ニーズの調査が必要。

・ 企画参加者と継続した関係作り。

1. 事業名：ハジマルフクラムプロジェクト

(1)概要

①趣旨：

自分のライフスタイルの延長として、地域づくりや市民活動に取り組む人の話を伺うトークイベント。地域の課題解決に取り組むことに興味を持ってもらうとともに、集まった人たちの交流からまちづくりへの多様な関わり方を知ってもらうことを目指す。

②内容

・ 参加費：無料又は 500 円（ワンドリンク付）

・ 対象：人と話しをすることが好きな方、仙台で実際に活動する人と話しがしてみたい方。
「何か始めたい」「地域のために何かしたい」と思っている個人の方、すでに何か活動中で、ネットワークを広げたいと思っている団体など

・ 内容：ゲストスピーカーの団体及び活動紹介の後、参加者を交えたトークセッションを行った。

1 回目：ハジマルフクラムプロジェクト ～十人十色のまちづくり～			
日時	会場	ゲスト	参加人数
7 月 29 日（土） 14:00～16:00	市民活動シアター	・ 一般社団法人 アーツグラウンド東北 千田優太さん ・ Table For Two Miyagi University 後藤明日香さん ・ NPO 法人 おりざの家 庄子尚美さん	33 名 定員 25 名
2 回目：マチノワストーリー -ワクワクからはじまるまちづくり-			
日時	会場	ゲスト	参加人数
2 月 24 日（土） 14:00～17:00	セミナーホール	生沼未樹さん 木村恒太さん 阿部えりこさん	4 名 定員 30 名

2. 事業名：仙台ちょっとまち歩き 市民活動の現場を巡る

(1)概要

①趣旨：本事業は、実際に市民活動や地域活動に参加したい人向けに行う事業である。今まで、市民活動や地域活動に触れる機会の少なかった方々が、実際に活動を体験することにより、それらの活動への興味関心や理解を促進する。

②内容

・ 参加費：無料 ※訪問先で必要な費用が発生した場合は事前に告知。

・ 対象：地域や社会貢献活動に興味のある人、地域の市民活動団体の活動内容や参加方法を知りたい人、まち歩きが好きな人

・ 備考：ボランティア保険加入あり。

・ 内容：日常行き来するエリアに隠れている市民活動団体や、普段訪れる機会のない団体の活動場所を訪問する。活動内容や活動者の話を聞くことで、団体の社会的意義

	や市民活動を身近に感じることのできる、気づきと交流の機会を提供した。			
	日時	訪問地域	訪問団体	参加者
	9月30日(土) 10:00~12:00	北仙台、北山エリア	・横田や ・NPO 法人 みやぎ・せんだい子どもの丘 ・NPO 法人 全国コミュニティライフサポートセンター ・NPO 法人 博英舎ころや	6名 定員10名
添付	☐ 広報物 ☐ アンケート結果			

個別事業報告書

事業名称	市民メディアの担い手育成【継続】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 ア：地域や社会の様々な課題の解決に、自主的、自発的に取組む市民を増やし、育成するための事業の企画及び実施	
事業目的	市民活動や地域づくり等への興味関心を高めると共に、活動者や支援者としての行動を起こすはじめの一步を後押しし、活動を行う市民を増やす。	
事業効果	市民活動や地域づくりに関心を持つ市民が増え、一人ひとりが地域生活、趣味、仕事など様々な形で市民活動や地域づくりに関わり始める。	
成果	成果目標	・15人の講座受講者と、7人のフィールド活動参加者 ・事業参加をきっかけにした活動参画事例10件の創出（事業番号3-1～3-2を通じて）
	実施目標	・講座を年1回実施＋随時活動日を設定
	(1) 市民ライター講座の実施 ・23人参加（うち6人は座学のみ参加） ・タ刊掲載5人 サポセンブログ掲載7人 ※最終原稿提出にいたらなかった参加者は5人 ・情報発信をしたいと考えている市民のスキルアップにつながった。 ・実際に取材体験をすることで、市民活動団体の取り組みを知り地域課題に目を向けるきっかけとなった。 ・受講生が書いた記事を見た人が掲載団体に問い合わせをし、支援につながった事例があった（2件） ・受講生が自主的に呼びかけしあい、情報交換や活動報告をするようになった。	
	(2) 市民ライター課外活動 ① 平成25年度～29年度までの受講生と地域メディアとのマッチングを兼ねた同窓会開催（2017キックオフミーティング） ・市民ライター 9人参加 ・地域メディア 3人団体参加 ② 活動参画事例 ・平成29年度ぱれっと取材執筆者：13人 ・地元ローカルメディア参加者：1人（ローカルニュースサイト TOHOKU360） 活動の場提供とマッチングにより、発信者として一歩踏み出す後押しができた。継続的に市民活動に関する情報に触れ、人によっては自身で発信するなど何かしら関わりを続けることで、市民活動に関する情報の流通が活性化した。また、これまでの受講生の中には市民活動者もあり、今年度講座内で取材先として協力してもらうなど継続したつながりが生まれている。	

	(3)地域メディア公開編集会議 ・ 17 人参加 ・ 地域メディア 5 団体 今年度は、地元のローカルメディアに注目し、市民ライターや市民メディアに関心のある市民が知り合うこと、意見交換をし、今後の地域メディアについて考えることに重点を置いた。その結果、地域メディアや市民ライターに取材をしてほしいと考える市民活動団体の参加があったり、地域メディアの情報リテラシーを考える意見が寄せられ、どのように地域メディアを市民で育てていくのかといった新たな議論が生まれた。自分たちの暮らすまちのメディアについて、参加者と具体的な意見を交わすことができた。															
課題	・ 市民力向上のため、「伝えること」で地域に関わる市民を増やす。 ・ 情報発信活動のおもしろさを体感でき、発信を続けるモチベーションを維持する仕掛けづくり。 ・ 地域メディアとサポセンのゆるやかなネットワークに、マスメディアを巻き込むことで市民による情報発信をより多くの市民に触れてもらう機会づくり。 ・ 市民ライターとの連携維持。															
実施概要	1、市民ライター講座 (1) 趣旨 活字媒体または WEB サイトを通じて、広く市民活動の情報を拡散させるため、一次情報の作成者（市民活動に関わる現場での出来事を掘り起し、文章等で発信する人）である市民ライターを育成する。 ※事業名の「市民メディア」は、まちづくりや地域活性化などを目的に一般市民によって制作されたメディア（ミニコミ誌、ホームページ、SNS、ブログなど）を指す。 (2) 内容 市民がライティング技術（取材・執筆）を学び、情報発信する力を身に付ける講座を実施した。取材先を市民活動団体や地域活動等にすることで、市民活動を理解し広くまちづくり活動の興味関心の向上を図った。 講 師：河北新報社記者 大泉大介さん 三浦康伸さん 菊地弘志さん 時 間：120 分× 4 日間の連続講座＋取材体験 参加費：無料 対 象：取材・編集・発信など情報発信に興味がある市民 地域活動やまちづくり活動に興味がある市民 ブロガー、学生インターンシップ受講者、SNS を活用する個人等、情報発信を学びたい市民活動者 主 催：仙台市市民活動サポートセンター 協 力：河北新報社 <table><tr><td colspan="3">タイトル</td></tr><tr><td colspan="3">市民ライター講座 2017 ～取材・執筆体験で磨く！地域の情報発信力～</td></tr><tr><td colspan="3">受講者 23 人(うち 6 人は座学のみ)</td></tr><tr><td>会場</td><td>実施日</td><td>内容</td></tr><tr><td>セミナー</td><td>10 月 4 日（水）</td><td>取材と記事執筆の基本を講義</td></tr></table>	タイトル			市民ライター講座 2017 ～取材・執筆体験で磨く！地域の情報発信力～			受講者 23 人(うち 6 人は座学のみ)			会場	実施日	内容	セミナー	10 月 4 日（水）	取材と記事執筆の基本を講義
タイトル																
市民ライター講座 2017 ～取材・執筆体験で磨く！地域の情報発信力～																
受講者 23 人(うち 6 人は座学のみ)																
会場	実施日	内容														
セミナー	10 月 4 日（水）	取材と記事執筆の基本を講義														

ホール	18:30～21:00	
セミナー ホール	10月10日(火) 18:30～21:00	模擬取材と記事執筆
現場	10月14・15・ 21・22日の土日	取材体験 取材のテーマ「市民活動のやりがい」 取材協力団体(6団体):NPO 法人ドットジェイピー、 WorKafe、母と自分を語る会、カワラバン、NPO 法人地 域生活支援オレンジネット
セミナー ホール	11月1日(水) 18:30～21:00	取材の振り返りと課題原稿の添削・合評会
セミナー ホール	11月7日(火) 18:30～21:00	前回の添削を受けて課題原稿のブラッシュアップ

その後、最終校正を経て、夕刊及びサポセンブログにて公開。

2. 市民ライター課外活動

(1)趣旨

市民ライターと、情報発信を必要とする地域や市民活動団体とをマッチングし、市民メディアに活躍の場を提供する。これにより、市民活動や地域活動を広く市民に伝え、活動の参画者やフォロワーを増やし、課題の解決につなぐ。

タイトル 市民ライター課外活動キックオフ 参加者 9人(市民ライター) 地域メディア 4団体		
会場	実施日	主旨／内容
市民活動 シアター	12月17日(日) 14:00～16:00	<主旨> 市民ライター講座 2014・2015・2016・2017 受講生を対象としたステップアップ講座と交流会。地域メディアとの連携創出。 <内容> ① ミニ講座 講師：TOHOKU360(イーストタイムズ) 安藤歩美さん 「ネットニュースの書き方のコツ」 ②情報交換 地域メディア(話題提供者) ・あらっE!プロジェクト(河北新報社): 畠山茂陽さん ・SEN. 高野明子さん ・TOHOKU360(イーストタイムズ): 安藤歩美さん ・サポセン「ぱれっと」: 宮崎真央 ② それぞれのメディアへの関わり方等情報交換

3. 地域メディア公開編集会議

「小さな物語から生まれる共感の輪」

	(1)趣旨 本来、地域メディアは市民一人ひとりが受発信し、関わるができるもの。一人ひとりのアクションが社会を動かす力になると考える。 本企画では、情報発信に関心のある一般市民や、市民ライター、地域メディア団体、マスメディアを交えて、地域情報を編集する。地域の課題や魅力をテーマに、地域メディア団体や市民が意見を交わし、どのような連携や発信ができるか試す場とする。多様な切り口や発信手法を知り、地域の魅力や課題、市民活動について自ら発信し連携できる人を増やす。 <table><tr><td colspan="3">地域メディア公開編集会議</td></tr><tr><td colspan="3">参加者 17人</td></tr><tr><td colspan="3">話題提供団体 5団体</td></tr><tr><td>会場</td><td>実施日</td><td>内容</td></tr><tr><td>市民活動シアター</td><td>2月25日(日) 14:00~16:30</td><td>話題提供 ・ is media by SELVA (セルバ事業所営業販促チーム) 吉田久美子さん きゅうさん (エディター・泉区民) ・ 畠山茂陽さん (河北新報社「あらっE」プロジェクト) ・ 安藤歩美さん (TOHOKU360 イーストタイムズ) ・ SEN. 高野明子さん 話題提供兼ファシリテーター ・ NPO 法人メディアージ 漆田義孝さん</td></tr></table>	地域メディア公開編集会議			参加者 17人			話題提供団体 5団体			会場	実施日	内容	市民活動シアター	2月25日(日) 14:00~16:30	話題提供 ・ is media by SELVA (セルバ事業所営業販促チーム) 吉田久美子さん きゅうさん (エディター・泉区民) ・ 畠山茂陽さん (河北新報社「あらっE」プロジェクト) ・ 安藤歩美さん (TOHOKU360 イーストタイムズ) ・ SEN. 高野明子さん 話題提供兼ファシリテーター ・ NPO 法人メディアージ 漆田義孝さん
地域メディア公開編集会議																
参加者 17人																
話題提供団体 5団体																
会場	実施日	内容														
市民活動シアター	2月25日(日) 14:00~16:30	話題提供 ・ is media by SELVA (セルバ事業所営業販促チーム) 吉田久美子さん きゅうさん (エディター・泉区民) ・ 畠山茂陽さん (河北新報社「あらっE」プロジェクト) ・ 安藤歩美さん (TOHOKU360 イーストタイムズ) ・ SEN. 高野明子さん 話題提供兼ファシリテーター ・ NPO 法人メディアージ 漆田義孝さん														
添付	■広報物 ■配布資料 ■アンケート結果 ■その他 (市民ライター講座受講生成果物)															

個別事業報告書

事業名称	市民活動初心者の人材育成 【継続】																																						
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 イ：市民活動を担う人材の課題発見力、事業の企画立案力及び事業遂行能力等を向上させるための事業の企画及び実施																																						
事業目的	市民活動を担う人材に対し、段階に応じた講座やワークショップを実施することで、活動力を総合的に引き上げる。																																						
事業効果	組織を構成する様々な人材の力が育まれ、組織の活動力や課題解決力が高まった結果、時流の変化に対応しながら地域や社会の課題解決に取り組む組織が増える。																																						
成果目標	講座を複数種受講し、課題解決に向けて総合的に行動する力を持つ人材をのべ 30 名育成。																																						
実施目標	講座の受講を通して年間のべ 120 名に市民活動の基本的なノウハウを伝える。																																						
成果	・各講座の開催日時、参加人数、講座満足度の詳細は下記の通り。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>開催日時</th><th>参加者 (定員 15 名)</th><th>講座満足度 (5 点満点中)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」</td><td>6 月 24 日 (土) 10:00~11:00</td><td>15 名</td><td>4. 21</td></tr> <tr> <td>はじめてのミニイベント 「企画書作成編」</td><td>6 月 24 日 (土) 11:10~12:30</td><td>13 名</td><td>4. 61</td></tr> <tr> <td>はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」</td><td>7 月 29 日 (土) 10:00~11:00</td><td>11 名</td><td>4. 3</td></tr> <tr> <td>はじめてのミニイベント 「広報編」</td><td>7 月 29 日 (土) 11:10~12:30</td><td>13 名</td><td>4. 81</td></tr> <tr> <td>はじめての助成金申請 「助成金基礎編」</td><td>11 月 18 日 (土) 10:00~11:00</td><td>29 名</td><td>4. 46</td></tr> <tr> <td>はじめての助成金申請 「見せ方アピール編」</td><td>11 月 18 日 (土) 11:00~12:10</td><td>30 名</td><td>4. 74</td></tr> <tr> <td>はじめてのミニイベント 「運営・人材育成編」</td><td>1 月 27 日 (土) 10:00~11:00</td><td>5 名</td><td>4. 6</td></tr> <tr> <td>はじめてのミニイベント 「会計編」</td><td>1 月 27 日 (土) 11:10~12:10</td><td>5 名</td><td>4. 6</td></tr> </tbody> </table> ・講座終了後、イベント企画や広報、助成金・会計についての相談につながったケースがあった。 ・参加者アンケートには、「『やりたい』と『できるのか?』との迷走から一歩ふみ出せそう。」「同じ講座であってもまた受けたかった。」「改めて、自分たちの団体のすることがみえた。」といった声があった。 ・全ての講座満足度が 5 点満点中 4 点以上と高評価を得られた。			事業名	開催日時	参加者 (定員 15 名)	講座満足度 (5 点満点中)	はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	6 月 24 日 (土) 10:00~11:00	15 名	4. 21	はじめてのミニイベント 「企画書作成編」	6 月 24 日 (土) 11:10~12:30	13 名	4. 61	はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	7 月 29 日 (土) 10:00~11:00	11 名	4. 3	はじめてのミニイベント 「広報編」	7 月 29 日 (土) 11:10~12:30	13 名	4. 81	はじめての助成金申請 「助成金基礎編」	11 月 18 日 (土) 10:00~11:00	29 名	4. 46	はじめての助成金申請 「見せ方アピール編」	11 月 18 日 (土) 11:00~12:10	30 名	4. 74	はじめてのミニイベント 「運営・人材育成編」	1 月 27 日 (土) 10:00~11:00	5 名	4. 6	はじめてのミニイベント 「会計編」	1 月 27 日 (土) 11:10~12:10	5 名	4. 6
事業名	開催日時	参加者 (定員 15 名)	講座満足度 (5 点満点中)																																				
はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	6 月 24 日 (土) 10:00~11:00	15 名	4. 21																																				
はじめてのミニイベント 「企画書作成編」	6 月 24 日 (土) 11:10~12:30	13 名	4. 61																																				
はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	7 月 29 日 (土) 10:00~11:00	11 名	4. 3																																				
はじめてのミニイベント 「広報編」	7 月 29 日 (土) 11:10~12:30	13 名	4. 81																																				
はじめての助成金申請 「助成金基礎編」	11 月 18 日 (土) 10:00~11:00	29 名	4. 46																																				
はじめての助成金申請 「見せ方アピール編」	11 月 18 日 (土) 11:00~12:10	30 名	4. 74																																				
はじめてのミニイベント 「運営・人材育成編」	1 月 27 日 (土) 10:00~11:00	5 名	4. 6																																				
はじめてのミニイベント 「会計編」	1 月 27 日 (土) 11:10~12:10	5 名	4. 6																																				

	・「はじめての助成金申請 助成金基礎編」「はじめての助成金申請 見せ方アピール編」については、定員を大幅に超える参加があった。 ・8回の講座で述べ121名の参加があり、実施目標を達成することができた。
課題	・イベント実施や助成金申請を実際に行うまでのフォロー体制を構築できず、参加者の受講後の動きが把握できていない。ただ、昨年度に引き続き今年度も、講座受講後の相談対応に数件つながっている。このケースを鑑み、対策の一つとして相談機能を周知し、個別対応によるフォローにつなげたい。 ・参加者アンケートにて、今後受講したい講座希望の項目には、「ボランティアマネジメント」「プレゼンの仕方」「起業・組織作り」を希望する数が多かった。また、今年度開催した「企画書作成」「広報」も次いで高く、継続して開催する受講ニーズが伺える。 ・プレゼンの仕方や社会課題の見える化については、今年度は、助成金申請に絡めて、「見せ方アピール編」として実施した。助成金申請では、申請者が感じている課題を、社会の課題として伝えることが不可欠であり、その際は、根拠となる課題を実感だけでなく数値化・データ化を行い可視化する必要がある。こうした方法を学ぶ講座のニーズがあることがわかったため、次年度においても継続的に講座を展開する。 ・「運営・人材育成編」「会計編」の講座は、一昨年度の講座アンケートからニーズが高いことが予想されたが、実際は定員を大きく下回る参加者数となった。また、助成金申請以外の講座についても、定員数を若干下回る参加者数であった。各講座の受講ニーズがあることは伺えるため、次年度においても、ターゲットに合わせた広報戦略を立て、周知を促し、目標の達成を目指す。 ・はじめての〇〇講座シリーズは、市民活動初心者の人材育成として開催してきた。一方で、参加者アンケートの自由記述欄からは、地域課題の捉え方から実践する方法や、連携や協働する団体の情報を求めていることが伺えた。このことから、今年度は、はじめての〇〇講座シリーズとは別枠で、連携・協働についての講座を展開する必要がある。この講座では、市民活動初心者に限らず、市民活動を担う人材の課題発見力、事業の企画立案力及び円滑に協働事業を行うノウハウの提供を目指す。
実施概要	事業名：はじめての〇〇講座 (1) 概要 ①趣旨： 市民活動を担う人材が、身に付けておくべき基本的なノウハウを学べる機会を講座形式でつくる。平成29年度については、平成27年度に実施した「はじめてのミニイベント」の進め方を踏襲し2コマ連続開催とした。 ②内容 ・会場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5 ・講師：当センタースタッフ ・参加費：無料 ・対象：市民活動初心者 (市民活動を立ち上げ予定の者、新規設立団体・NPO法人、市民活動団体・NPO法人で新たに何らかのイベントを企画する者、アイデアはあるが実行に移せていな

い者・団体、新たに広報担当になった者、手探りで活動していて運営に不安のある団体、新たな資金調達必要性が迫られている団体など）
講座によっては、すでに活動を始めているが活動の手法に悩んでいる者も含む。

テーマ	内容
企画運営基礎編 ※初心者対象 (年2回開催)	はじめてミニイベント(*)を企画・実施するに当たってのポイントや注意事項を学ぶことを目的とする。
企画書作成編 ※初中級対象	ミニイベントを企画する者を対象に、企画書作成のポイントを解説。アイデアを書き出していく個人作業も取り入れながら企画書作成の手順を学ぶ。
イベント広報編 ※初中級対象	ミニイベントを実施する者を対象に、広報の基本を解説。広報の基本となるチラシ作りのアイデアを考える個人作業も行う。
運営・人材育成編 ※初中級対象	ミニイベントを実施する者を対象に、円滑に運営するための事務局の役割を紹介。具体的な手法やスタッフ・ボランティアの集め方・育成方法など、運営に必要なノウハウを学ぶ。
助成金基礎編 ※初心者対象	助成金への申請を検討している者を対象に、資金源、助成金の性質、助成金を出す側の論理などを紹介し、助成金とはどのようなものなのかという理解を促進する。
見せ方7ピール編 ※初中級対象	助成金への申請を検討している者を対象に、課題を整理、数値化、見える化し、いかに伝わるようにするか、事例をあげながらその手法を学ぶ。
会計編 ※初中級対象	ミニイベントを実施する者を対象に、準備から当日までの会計の基本を解説。活動計算書や帳簿の作成ではなく、日々の金銭処理についてノウハウを学ぶ。

※ミニイベント：本事業では「自団体・グループ以外の人たちの参加も想定した小規模な企画（参加者：数名～100名、予算：10万円未満）」と定義した。

添付

☒ 広報物
 ☒ 配布資料
 ☒ アンケート結果
 ☐ その他（ ）

個別事業報告書

事業名称	市民活動団体の組織運営基盤強化【発展】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 ウ：市民活動団体の組織運営基盤（事務局運営、税務、労務、会計、資金、人材、広報等）を強化するための事業の企画及び実施	
事業目的	他機関・専門家と連携して市民活動団体の組織運営基盤を強化し、自立的な組織基盤を持った市民活動団体を育成する。	
事業効果	高い組織運営力や事業遂行能力を持つ市民活動団体が增多することで、企業や行政セクターからの信頼性が向上し、協働が生まれる素地ができる。	
成果	成果目標	個々の市民活動団体が、組織課題を解決に向けて整理し、組織運営の基盤を強化する。
	実施目標	講座/伴走型専門相談による組織運営基盤強化支援を 10 団体に実施
	・アクションプラン・スクール参加団体が組織のビジョン・ミッション作成の基本とファンドレイジングの基本、ロジックモデル作成の基礎を学び各団体のアクションプラン作成を行なった。 ・かゆいところに手が届く講座参加者のべ 30 名 18 団体が、ファンドレイジングと WEB マーケティングについて学び、自団体への活用法を考えた。 ・講座を通して組織課題の整理と見える化を行い、課題解決力の強化につながった。 ・参加者の 95%が非常に満足という感想を持った。 ・スクールで取り組んだロジックモデルを活用した事業分析手段が非常に有効だった。 ・スクール及び講座の参加団体に対し継続的な相談対応でフォローし、伴走型相談につなげる道筋を作った。 ・スクール参加団体が、7 年以上前からの組織の課題の解決策をブラッシュアップし取組内容を具体化した。専門相談を通し同団体が新たに立ち上げる事業のアクションプランを固めることができ、伴走型相談案件として引き続きサポセンがサポートしていくこととした。 ・かゆいところに手が届く講座参加者の中から、参加を機に自団体のファンドレイジングプラン構築や WEB 運営の見直しに取組み始めた団体があった。 ・かゆいところに手が届く講座により具体的な課題解決につながる意識づけができた。	
課題	【社会を変えるアクションプラン・スクール PART 2】 ・広報期間が短かったため、日程が合わず参加を断念した団体が 5 団体あった。 ・平日日中の時間帯の参加が難しいのではないかと今年度は土日の開催としたが、土日はイベントと重なるため参加が難しい団体が多いという結果になった。平日夜間などの開催か、広報期間を半年程度取るなどの対応が必要である。 【かゆいところに手が届く講座】 ・開催直前の広報にも関わらず参加者数が伸びた。新しい分野の内容を掘り下げる講座を十分広報期間を取って開催すれば集客につながり、市民活動支援の成果に結び付けられる。	

個別事業報告書

事業名称	市民活動団体の交流機会の創出【発展】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ②交流及びネットワークづくりの支援 様々な市民活動団体が、活動分野や領域を超えて交流・情報交換する機会を提供するなど、個々の活動の幅を広げ、団体間のネットワークづくりを支援するための事業の企画及び実施	
事業目的	市民活動団体同士の交流機会を創出し、ネットワーク化を推進する	
事業効果	団体が持つ人材、得意分野、資源、課題などの情報を共有するコミュニケーションが活発になり、ネットワークが生まれやすくなる。	
成果	成果目標	・参加団体同士の認知向上が進み、多様な市民を巻き込んだ創造的で有機的なネットワークが生まれる。
	実施目標	・延べ 250 名の参加者
	・今まで知り合う事がなかった異分野の団体が一堂に会した事により、知り合うきっかけを作ることができた。 ・異分野のブースが並んだことにより、思いがけず団体の活動を知ることができ、横断的にブースを訪れる市民が目立った。 ・年間延べ 40 団体の交流の促進につながった。 ・年間延べ 900 名の参加者。	
課題	・ブース出展の目的の共有を行なうことが難しく、参加団体がそれぞれの目的で参加しており、一体感を出す事ができなかった。 ・当日ブースを出展してもらうことだけではなく、活動を知ってもらうためには、どんな準備をしたらいいのか、どんな広報を行なったらいいのか、どんな伝え方をしたらいいのかを事前に学ぶ支援も行えれば、参加団体にもより良い機会になったと思われる。 ・多くの来場者を期待していた団体からは不満の声もあった。 ・他の団体との交流を考えていない団体もあり、交流機会の難しさを感じた。	
実施概要	1. 事業名：マチノワブース (1) 概要 ①趣旨： 複数の市民活動等が、取り組みを発表する場を共に作ることで、市民活動者などの交流の促進を行なう。また、活動を市民に周知する機会を創出するだけでなく、活動分野や領域を越えた市民活動者などが共に企画に取り組むことで、団体間のネットワークの構築を図る。 (2) 内容 ①マチノワブース（7 月 29 日実施マチノワ縁日内企画） ・マチノワブース出展団体直前ミーティング実施	

	日時 会場 参加団体数 内容	7月21日（金）18:00～20:00
		仙台市市民活動サポートセンター研修室5
		6 団体
		団体同士の自己紹介、活動紹介、出展内容の紹介をおこなった。また、普段、知り合うことが少ない他分野を、知るためのきっかけづくりをおこなった。
	・マチノワブースの運営（マチノワ縁日当日）	
	日時 会場 出展団体数 参加者数 内容	7月29日（土）14:00～16:00
		仙台市市民活動サポートセンター研修室5
		11 団体
		275 人
		活動を伝えてもらう手段として、ワークショップ、販売、展示、パフォーマンス等のブース出展を実施。相互にブースを行き来し、他団体の展示の様子を参考にし合うなど、交流や情報交換を行なった。 また、ブースに立ち寄った来場者には、活動紹介を行い、活動内容の促進や理解を深める機会の創出を行なった。
	②マチノワブース（2月21日～27日実施マチノワWEEK内企画）	
	・出展応募団体事前説明会	
	日時 参加団体数	11月25日（土）
		7 団体（応募団体は 28 団体：定員 20 団体）
	日時 参加団体数	12月21日（木）
		7 団体（応募団体は 28 団体：定員 20 団体）
	日時 参加団体数	1月20日（土）
		8 団体（応募団体は 28 団体：定員 20 団体）
	日時 参加団体数	1月26日（金）
		3 団体（応募団体は 28 団体：定員 20 団体）

内容	団体同士の自己紹介、活動紹介、出展内容の紹介をおこなった。また、普段、知り合うことが少ない他分野を、知るときのきっかけづくりをおこなった。
・ マチノワブースの運営	
日時	2月24日（土）10:30～15:00 2月25日（日）10:30～15:00
会場	仙台市市民活動サポートセンター 1F
参加団体	2日間 計 26 団体 【24日参加団体】 ・ 2日間 計 26 団体 【24日参加団体】 ・ NP0 法人東北の造形作家を支援する会 ・ 個人型確定拠出年金普及会 ・ NP0 法人キッズドア ・ CIL たすけっと ・ NP0 法人地域情報モラルネットワーク ・ 仙台エスペラント会 ・ 仙台ばら会 ・ 公益社団法人日本山岳会宮城支部 ・ NP0 法人煌の会 ・ シャプラニール仙台・ボンドウの会 ・ リボンヌ手芸部 miyagi ・ 社会福祉法人仙台いのちの電話 【25日参加団体】 ・ NP0 法人麦の会 ・ マオメオ・キャットクラブ ・ 介護者サポートネットワーク・ケアむすび ・ NP0 法人アマニ・ヤ・アフリカ ・ Table For Two Miyagi University ・ 宮城県勤労者山岳連盟 ・ 日本勤労者山岳連盟宮城県連盟朋友会 ・ 日本リアリズム写真集団仙台支部 ・ カワラバン ・ NP0 法人日本脳トレーニング協会

事業番号 6

		・ 海辺の図書館 ・ ぽーだれすアートくらぶ BAC せんだい ・ NPO 法人日本リラクゼーションフットケア協会 ・ 雨水ネットワーク東北
	内容	市民活動団体等の活動紹介と、ブース出展を通じた参加団体同士の交流促進
	来場者数	24 日：延べ 358 名 25 日：延べ 280 名 2 日間計：のべ 638 名
添付	☐ 収支計算書 ☒ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他（ ）	

個別事業報告書

事業名称	多様な主体による協働の推進	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ③多様な主体による協働の推進 ア：市民活動団体、地域団体、企業、大学、行政等の多様な主体による、地域や社会の様々な課題の解決に向けた新たな協働の可能性を見出し、協働の実現につなげていくための事業の企画及び実施	
事業目的	様々な課題にあわせて多様な主体同士がつながりやすい環境を育む。	
事業効果	多様な主体が持つ資源や発想が相互に作用する機会が生まれ、地域や都市課題解決の取組みが創出される。	
成果	成果目標	・ マチノワ企画において延べ 1200 名の参加者 ・ 地域機関との事業連携 2 件 ・ 外部へのブース出展、出張講座、出張相談 5 件 ・ 各区まちづくり推進課との情報交換会の実施 1 回
	実施目標	地域機関との関係性深化
	・ マチノワ企画に延べ 1,488 名が参加。多様な主体同士が知り合うきっかけを作った。 ・ マチノワ企画に参加した高校生が、活動を実践する大人たちと対話し、活動のヒントを得て、後日、自ら考える活動についてサポートセンターへ報告に来るなど、属性・世代を超えた交流が、活動の実践へと反映される事例があった。 ・ 平成 27 年度から地域機関と関係性を構築し続けたことにより、継続的に相談や講師依頼などをいただいている。また、当センターからもマチノワ企画などのお声掛けをしやすく、多彩なプログラム提供につながっている。	
課題	・ 多様な主体が参加し、交流する場を設ける事ができたが、すべての参加者が、異なる多様な主体の人たちと対話できたわけではなかった。もっと多様な主体と対話を生み出すための仕組みを検討する必要がある。 ・ 平成 30 年度も地域機関からの様々な地域活動や市民活動の支援協力依頼があると想定される。地域の実情に応じた要望に継続的に応えていくためには、スタッフの育成を行うとともに、地域機関の支援力を上げていく必要がある。	
実施概要	1、「マチノワ企画」の実施 (1) 趣旨 ・ 市民活動団体、地域団体、企業、大学、行政等の多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等、仙台市のまちづくりについて考え、交流を深め、対話する機会を創出する。 ・ 市民のまちへの思いを引き出し、地域活動、起業、市民活動など広い意味でのまちづくりに関わるきっかけを作る。 (2) 内容 ・ サポートセンターを会場に、多様な主体が仙台のまちづくりについて考え、意見を交わし、交流を深めることができるイベントを開催する。イベントの実施にあたっては、サポートセンター主催の企画に加え、様々な機関と連携したイベントも企画し、サポ	

ートセンターを普段から利用している利用者に留まらない多様な主体が交流し、対話する場を提供する。

①マチノワ縁日 見て、触れて、楽しもう。まちづくりの出会いの広場

実施期間：平成 29 年 7 月 29 日(土)

会場：市民活動サポートセンター（1 階、研修室 5、市民活動シアター）

参加者総数：のべ 362 名

主催：仙台市市民活動サポートセンター

プログラム

プログラム	時間	会場	参加人数
はじめてのミニイベント 企画運営基礎編、イベント広報編	10:00-12:30	研修室 5	24 名
ハジマルプログラムプロジェクト	14:00-16:00	市民活動 シアター	33 名
マチノワブース	13:00-17:00	1 階	出展 11 団体 来場 275 名
NETWORKING TIME 宴	17:00-21:00	市民活動 シアター	30 名
合計			362 名

②マチノワWEEK vol.2 もっとつながる、もっとひろがる、まちづくりの輪

実施期間：平成 30 年 2 月 21 日(水)～2 月 27 日(火)

会場：市民活動サポートセンター（1 階、5 階、セミナーホール、市民活動シアター）

参加者総数：のべ 1,126 名

主催：仙台市市民活動サポートセンター

共催：公益財団法人仙台市産業振興事業団 仙台市起業支援センター“アシスタ”、仙台若者アワード実行委員会（仙台市/コカ・コーラボトラーズ ジャパン株式会社/一般社団法人ワカツク）、仙台に夜間中学をつくり育てる会、特定非営利活動法人都市デザインワークス、一般社団法人パーソナルサポートセンター、特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

プログラム

プログラム	日時	会場	参加人数
仙台自主夜間中学 一般公開(見学会)	2月21日(水) 14:00-16:10	セ ミ ナー ホール	50 名
協働の現場トーク！ 事例か探る協働のコツと未来	2月21日(水) 18:30-20:00	1 階	5 名
マチノワストーリー -ワクワクからはじまるまちづくり-	2月24日(土) 14:00-17:00	セ ミ ナー ホール	4 名
仙台若者アワード 最終審査プレゼンテーション	2月24日(土) 15:30-18:50	市民活動 シアター	90 名
誰かの小さな物語から生まれる共感 の輪-地域メディア公開編集会議-	2月25日(日) 14:00-16:00	市民活動 シアター	17 名

	アシスタ カフェトーク 社会起業家編「想いを実現するバランス経営～2つの『アップル』の成功ポイント」	2月26日(月) 18:30-21:00	市民活動 シアター	39名
	チビラボ 未来の仙台を考える対話と研究の場 VOL. 3	2月27日(火) 18:30-20:30	1階	16名
	カンパイリレー	2月22日(木) 18:30-20:30	市民活動 シアター	15名
		2月23日(金) 18:30-20:30	市民活動 シアター	9名
		2月24日(土) 19:00-20:30	市民活動 シアター	90名
	マチノワブース	2月24日(土) 10:30-15:00	1階	358名
		2月25日(日) 10:30-15:00	1階	280名
	サポセン館内ガイド	2月22日(木) ～26日(月)		6名
	展示 宮城野区中央市民センター× 仙台市市民活動サポートセンター・若 者×地域「つながる かべしんぶん」	2月21日(水) ～27日(火)	1階 ※一部日 程は5階	147名
	合計			1,126名

2、地域機関との連携

①概要

- ・連携機関が主催する市民力の育成や協働推進を目的とした事業で、当センターに協力依頼や相談があった案件について、必要に応じてスタッフがコーディネーター等として機能しながら事業への協力を実施した。

②具体事例

- ・宮城野区中央市民センター

若者社会参画型学習推進事業「まいぷろ」

※「まいぷろ」（主催：宮城野区中央市民センター）

若者たちのボランティアや地域活動に対するハードルを下げ、スムーズかつ継続的に活動していくための基本を学ぶ場づくりを行なう。「まいぷろ」での学びが、まちづくりに臨む姿勢や、新たな活動を生み出す意欲につながることを目的にしている。

29年度は、地域情報を発信する壁新聞作成を通じ、地域づくりに関わる若者を育成した。

日程	内容
4月14日	事業計画相談
5月2日	事業計画相談
5月16日	ゲストマッチング

	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>八幡商店街ご担当者</td> </tr> <tr> <td>5月27日</td> <td>まいぷろ 第1回 顔合わせ</td> </tr> <tr> <td>6月24日</td> <td>まいぷろ 第2回 ふり返り会場提供 八幡商店街、原町商店街取材</td> </tr> <tr> <td>7月8日</td> <td>まいぷろ 第3回 オブザーブ参加</td> </tr> <tr> <td>8月30日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>9月2日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>9月9日</td> <td>まいぷろ 前期最終回 オブザーブ参加</td> </tr> <tr> <td>9月15日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>10月6日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>10月31日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>12月2日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>12月9日</td> <td>まいぷろ オブザーブ参加</td> </tr> <tr> <td>12月12日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>1月12日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>1月17日</td> <td>事業企画相談</td> </tr> <tr> <td>1月21日</td> <td>報告会 オブザーブ参加</td> </tr> <tr> <td>2月16日</td> <td>マチノワ WEEK 展示打合せ・下見</td> </tr> <tr> <td>2月21日～</td> <td>マチノワ WEEK 展示</td> </tr> <tr> <td>3月13日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3月11日</td> <td>今年度のまとめ 会場提供</td> </tr> </table>		八幡商店街ご担当者	5月27日	まいぷろ 第1回 顔合わせ	6月24日	まいぷろ 第2回 ふり返り会場提供 八幡商店街、原町商店街取材	7月8日	まいぷろ 第3回 オブザーブ参加	8月30日	事業企画相談	9月2日	事業企画相談	9月9日	まいぷろ 前期最終回 オブザーブ参加	9月15日	事業企画相談	10月6日	事業企画相談	10月31日	事業企画相談	12月2日	事業企画相談	12月9日	まいぷろ オブザーブ参加	12月12日	事業企画相談	1月12日	事業企画相談	1月17日	事業企画相談	1月21日	報告会 オブザーブ参加	2月16日	マチノワ WEEK 展示打合せ・下見	2月21日～	マチノワ WEEK 展示	3月13日		3月11日	今年度のまとめ 会場提供
	八幡商店街ご担当者																																								
5月27日	まいぷろ 第1回 顔合わせ																																								
6月24日	まいぷろ 第2回 ふり返り会場提供 八幡商店街、原町商店街取材																																								
7月8日	まいぷろ 第3回 オブザーブ参加																																								
8月30日	事業企画相談																																								
9月2日	事業企画相談																																								
9月9日	まいぷろ 前期最終回 オブザーブ参加																																								
9月15日	事業企画相談																																								
10月6日	事業企画相談																																								
10月31日	事業企画相談																																								
12月2日	事業企画相談																																								
12月9日	まいぷろ オブザーブ参加																																								
12月12日	事業企画相談																																								
1月12日	事業企画相談																																								
1月17日	事業企画相談																																								
1月21日	報告会 オブザーブ参加																																								
2月16日	マチノワ WEEK 展示打合せ・下見																																								
2月21日～	マチノワ WEEK 展示																																								
3月13日																																									
3月11日	今年度のまとめ 会場提供																																								
	・ 宮城野区市民企画員講座 宮城野区の市民企画員が「カルタにして後世に伝えたい宮城野区のひと・もの・こと」を区内の方々とともに集め「宮城野・郷土かるた」を作成。3月に企画相談を受け、一般市民参加の読み札作成ワークショップ開催時にファシリテーターを担った。 <table border="1"> <tr> <td>6月13日</td> <td>市民企画員会議参加</td> </tr> <tr> <td>9月2日</td> <td>カルタづくりファシリテーター担当</td> </tr> <tr> <td>9月16日</td> <td>カルタづくりファシリテーター担当</td> </tr> </table>	6月13日	市民企画員会議参加	9月2日	カルタづくりファシリテーター担当	9月16日	カルタづくりファシリテーター担当																																		
6月13日	市民企画員会議参加																																								
9月2日	カルタづくりファシリテーター担当																																								
9月16日	カルタづくりファシリテーター担当																																								
	・ 太白区まちづくり推進課 東北工業大学との共同によるまちづくり講座の相談および事例紹介の依頼、また昨年度に引き続き区民まつりでのブース出展を行った。 <table border="1"> <tr> <td>4月17日</td> <td>事業相談</td> </tr> <tr> <td>9月29日</td> <td>太白区・東北工大共同講座 打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>10月15日</td> <td>太白区民まつり 出展</td> </tr> <tr> <td>10月20日</td> <td>太白区・東北工大共同講座 事例紹介</td> </tr> </table>	4月17日	事業相談	9月29日	太白区・東北工大共同講座 打ち合わせ	10月15日	太白区民まつり 出展	10月20日	太白区・東北工大共同講座 事例紹介																																
4月17日	事業相談																																								
9月29日	太白区・東北工大共同講座 打ち合わせ																																								
10月15日	太白区民まつり 出展																																								
10月20日	太白区・東北工大共同講座 事例紹介																																								
	・ 仙台スポーツ・サポーターズ・ネットワーク会議出席 9月28日、10月18日、11月16日、12月20日 ・ 太白区秋まつり 11月25日																																								

事業番号 7

	・宮城野区まちづくり推進課 <table border="1" data-bbox="448 237 1171 284"> <tr> <td data-bbox="448 237 619 284">7月28日</td><td data-bbox="619 237 1171 284">まち活助成金相談対応</td></tr> </table> ・地域機関からの相談・依頼対応： （公財）仙台ひと・まち交流財団：広報講座講師 仙台市シルバーセンター：せんだい豊齢学園講師 宮城野区社会福祉協議会 台原老人福祉センター：シニア市民講座講師	7月28日	まち活助成金相談対応
7月28日	まち活助成金相談対応		
添付	☐ 収支計算書 ☒ 広報物 ☐ 配布資料		

個別事業報告書

事業名称	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ③多様な主体による協働の推進 イ：協働の事例から、協働を進め、実現するためのノウハウ等を抽出し、ほかの協働事業や活動に活かすための事業の企画及び実施	
事業目的	多様な主体による地域や社会の課題解決に向けた取り組みを検証し、そのノウハウを体系化して協働を行うために役立つ情報として提供し、協働の実践者を増やす。	
事業効果	協働が生まれたプロセスや効果を知ることによって協働に対する理解が深まり、実践に向けて考えるきっかけが生まれる。結果、協働を実践する可能性が高まり、実践事例が生まれる。	
成果	成果目標	・次年度の協働事例の創出 3 件
	実施目標	・年 3 回開催 ・延 60 名の参加者
	・マチノワラボは、フランス連帯経済・都市のスポンジ化・LOCAL GOOD SENDAI と、異なる分野のテーマで実施。行政・NPO・市民・学生と広い関心層の参加があった。 ・マチノワラボを年 3 回実施、延 183 名の参加があった。参加型ワークショップチビラボを年 3 回実施、延 34 名の参加があった。 ・行政職員の参加により、政策と社会課題の関係性や協働で取組む課題解決についての話題提供となった。 ・ゲストと進行役が中心となり、参加者を巻き込んだ議論が展開できた。	
課題	・対話の場から実践につなげるしくみが必要。 ・企業や町内会等への広がりが課題。 ・協働事例のノウハウ共有では、参加者が振るわなかった。仙台市の協働事業提案制度の説明会などと実施時期を合わせて、相乗効果を狙う必要がある。	
実施概要	1、事業名：マチノワ・ラボ～未来のまちを考える対話と交流の場～ ①趣旨： 現状の理解を深め、先進事例から学び、持続的な地域づくりを考える未来志向の場。参加する人同士の対話を通して仙台や東北そして社会の課題にアプローチする場とする。 ②内容 マチノワラボ VOL. 1「社会的連帯経済ってなんだ！？ーフランスから学ぶー」 ・日程：平成 29 年 5 月 11 日（木）16:00～18:00 ・会場：市民活動シアター ・ゲスト：熊本学園大学社会福祉学部福祉環境学科 教授 花田昌宣さん 大阪市立大学経済学部経済学研究科 教授 福原宏幸さん ・主 催：仙台市市民活動サポートセンター・一般社団法人パーソナルサポートセンター ・共 催：NPO 法人都市デザインワークス・NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター ・参加者：56 名／定員 50 名 マチノワラボ VOL. 2「都市をたたむ！？ーこれからの都市政策とはー」 ・開催日：平成 29 年 7 月 24 日（月）18:00～20:00	

- ・場 所：地下市民活動シアター
- ・ゲスト：首都大学東京都市環境科学研究科都市システム科学域 教授 饗庭 伸さん
- ・主 催：仙台市市民活動サポートセンター・NPO 法人都市デザインワークス
- ・共 催：一般社団法人パーソナルサポートセンター・NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・参加者：82 名／定員 50 名

マチノワラボ VOL. 3「発信！LOCAL GOOD SENDAI キックオフミーティング・オープンデータとまちづくりー」

- ・開催日：平成 29 年 10 月 26 日（木）18:30～21:00
- ・場 所：地下市民活動シアター
- ・メインスピーカー：NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事 杉浦 裕樹さん
- ・ナビゲーター：公益財団法人地域創造基金さなぶり 専務理事 鈴木 祐司さん
- ・話題提供：NPO 法人仙台夜回りクループ 代表理事 青木 康弘さん
NPO 法人都市デザインワークス代表理事 榊原 進さん
- ・主 催：仙台市市民活動サポートセンター・NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・共 催：公益財団法人地域創造基金さなぶり・NPO 法人都市デザインワークス・
一般社団法人一般社団法人パーソナルサポートセンター
- ・参加者：63 名／定員 50 名

チビラボ VOL. 1「データが映しだす地域ーあなたの気になるエリアはどう見える?!ー」

- ・開催日：平成 29 年 11 月 27 日（月）18:30～20:30
- ・場 所：1 階サロン
- ・話題提供：NPO 法人都市デザインワークス
- ・ファシリテーション：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・参加者：8 名

チビラボ VOL. 2「データが映しだす地域ーあなたの気になるエリアはどう見える?!ー」

- ・開催日：平成 30 年 1 月 11 日（木）18:30～20:30
- ・場 所：1 階サロン
- ・話題提供：NPO 法人都市デザインワークス
- ・ファシリテーション：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・参加者：11 名

チビラボ VOL. 3「データが映しだす地域ーあなたの気になるエリアはどう見える?!ー」

- ・開催日：平成 30 年 2 月 27 日（火）18:30～20:30
- ・場 所：1 階サロン
- ・話題提供：NPO 法人都市デザインワークス
- ・ファシリテーション：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・参加者：15 名

2、協働事例のノウハウ共有

- ①趣旨：協働を実施している市民活動団体等より、協働のノウハウをトーク形式で聞

	きだし、参加者と共有するイベントを、マチノワWEEK期間中に実施し、協働についてよくわからないと思っている市民活動団体や協働を試みようと思っている市民活動団体に、協働のノウハウについて事例を通して紹介すると共に、実際の協働の事例について生の声を聞き出すことで、協働に必要な仕組みなどについて検討する材料とする。 進行に当たっては、協働の意義、協働に至るまでの協働相手との関係性、協働実施後の関係性の变化、協働するにあたって必要なもの（仕組み、心構えなど）を聞き出すようにし、単なる事例紹介、ノウハウ紹介ではなく、協働の基本となる関係性についてや、協働推進のために必要なポイントについて理解が進む内容とする。 ・企画タイトル：協働の現場トーク！ <table border="1" data-bbox="391 678 1437 1084"> <tr> <td>日時</td> <td>平成 30 年 2 月 21 日(水)18 時 30 分～20 時 00 分</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>市民活動サポートセンター1 階</td> </tr> <tr> <td>ゲスト</td> <td> ・ 一般社団法人宮城県マンション管理士会 会長 高橋悦子さん ・ 特定非営利活動法人とおきの音楽祭 事務局長 菊地新生さん </td> </tr> <tr> <td>進行</td> <td>市民活動サポートセンタースタッフ</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>協働に関心のある市民活動団体・行政等、協働の推進に関わる者</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5 名</td> </tr> </table>	日時	平成 30 年 2 月 21 日(水)18 時 30 分～20 時 00 分	会場	市民活動サポートセンター1 階	ゲスト	・ 一般社団法人宮城県マンション管理士会 会長 高橋悦子さん ・ 特定非営利活動法人とおきの音楽祭 事務局長 菊地新生さん	進行	市民活動サポートセンタースタッフ	対象	協働に関心のある市民活動団体・行政等、協働の推進に関わる者	参加者	5 名
日時	平成 30 年 2 月 21 日(水)18 時 30 分～20 時 00 分												
会場	市民活動サポートセンター1 階												
ゲスト	・ 一般社団法人宮城県マンション管理士会 会長 高橋悦子さん ・ 特定非営利活動法人とおきの音楽祭 事務局長 菊地新生さん												
進行	市民活動サポートセンタースタッフ												
対象	協働に関心のある市民活動団体・行政等、協働の推進に関わる者												
参加者	5 名												
添付	■広報物 ■配布資料 ■アンケート結果 ■その他（報告書）												

個別事業報告書

事業名称	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究【新規】	
業務仕様	(5) 調査研究及び提案 ① 市民活動，協働等に関する調査研究及びその成果の公表	
事業目的	仙台の市民社会のあり方とあり方を支える仕組み（施策）を検討・試行し、協働によるまちづくり・地域づくりを推進する。	
事業効果	協働によるまちづくり・地域づくりを推進するのに効果的な手法が開発され、施策として実践的に取り組まれた結果、地域や都市で協働によるまちづくりが活発に行われる。	
成果	成果目標	課題解決プラットフォーム構想の具体化
	実施目標	・ 特になし
	・ 社会課題解決のプラットフォームとして「せんだい都市社会イノベーション機構（仮）」（略称 SIRIUS。以下、SIRIUS）の試行を開始した。まずはプラットフォームの「調整」機能について、構成団体・機関等のプロジェクトや情報を集約し整理するための定例ミーティングを年 6 回実施し、検証を行った。	
課題	・ SIRIUS の本来の目的やビジョンについても手探りであったため、議論が停滞したり、方向性が拡散した。今後は、SIRIUS の目的やビジョンを明確にした事務局運営が必要である。	
実施概要	詳細は添付報告書を参照のこと。 1、「社会課題解決のプラットフォーム」の試行と検証 「社会課題解決のプラットフォーム」を構成する機関・団体（NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、NPO 法人都市デザインワークス、一般社団法人パーソナルサポートセンター、一般社団法人ワカツク、NPO 法人ほっぷの森、公益社団法人地域創造基金さなぶり、仙台市市民協働推進課）が一堂に集まる定例ミーティングを年 6 回実施した。SIRIUS に関する議論と、課題発見機能である LOCAL GOOD SENDAI に関する情報共有、将来的な社会課題や必要な支援策の検討などを行った。 2、課題発見及び解決主体形成に資する手法の開発と試行 プラットフォームに必要な「調整」「調査」「開発」「提言」の機能のうち、「開発」の機能を検討すべく、多様な主体が集い社会課題について議論するセッションとして「マチノワラボ」と「チビラボ」を実施した。また、仙台市が地域での課題解決活動を支える支援策として平成 29 年度にスタートした「ふるさと底力向上プロジェクト」について、このプロジェクトの全体像や、各区および総合支所が管轄する地域の課題解決活動の状況、支援の取組みなどを調査した。 3、他都市の課題解決プラットフォームに関する情報収集 日本に市民社会を根付かせることを目的とした NPO 法の意義と意味、および今後の 20 年の「市民社会」についての知見を得るために、「NPO 法成立 20 周年記念フォーラム」に参加した。	
添付	☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☒ その他（調査報告書）	